

中原区区民アンケート

報告書

令和4（2022）年12月

川崎市中原区

目次

I 調査概要	1
1 調査の目的.....	3
2 調査の方法.....	3
3 調査の項目.....	3
4 回収状況.....	3
5 この報告書の見方.....	4
6 回答者の属性.....	5
II 調査結果の詳細	11
1 区民の定住性.....	13
(1) 居住年数.....	13
(2) 以前の居住場所.....	16
(3) 定住意向.....	18
(4) 定住したい理由.....	21
(5) 転出したい理由.....	24
2 生活環境評価.....	25
(1) 生活環境の満足度.....	25
(2) 生活環境全体の満足度.....	32
(3) 住みよい環境についての意識.....	35
3 区役所業務の評価・区のイメージ.....	38
(1) 満足している区役所の業務.....	38
(2) 力を入れてほしい区役所の業務.....	42
(3) 中原区のイメージ.....	46
4 中原区役所の広報.....	50
(1) 行政・地域情報の入手方法.....	50
(2) 充実してほしい行政・地域情報の提供方法.....	54
(3) 「かわさき市政だより」中原区版の閲覧状況.....	59
(4) 充実してほしい行政・地域情報の種類.....	62
5 中原区役所の環境.....	67
(1) 中原区役所の利用頻度.....	67
(2) 中原区役所の環境・設備の満足度.....	70
(3) 中原区役所の環境全体の満足度.....	75
6 子育て支援.....	77
(1) 子育ての経験の有無.....	77
(2) 利用したことがある子育て支援サービス.....	79
(3) 子育て支援サービスを知ったきっかけ.....	84

7	地域包括ケアシステム	87
	(1) 「地域包括ケアシステム」の理解度・行動	87
	(2) 「地域包括ケアシステム」で取り組むべきこと	91
8	地域の支え合い	93
	(1) 地域の支え合いに協力できること	93
	(2) 日常生活で困っていること、将来困るだろうと思うこと	97
	(3) 地域で支え合いを希望すること、将来的に頼みたいと思うこと	100
	(4) 「誰もが住み慣れた地域で、安心して最期まで暮らせるよう、支えあう地域づくり」について の考え	103
	(5) 最期までどのように住み続けたいか	104
	(6) 実際に最期を迎えると思う場所	107
9	地域活動	109
	(1) 自由な時間があるときに過ごす場所	109
	(2) 地域活動への参加状況	111
	(3) 地域活動に参加していない理由	114
	(4) 参加してみたい地域活動	116
10	防災対策	118
	(1) 災害に備えるための取組	118
	(2) 備蓄状況	121
	(3) 自然災害のリスクについての考え	123
	(4) 防災に関する情報の入手手段	124
	(5) 災害時の避難先	126
	(6) 避難所の運営に協力できるか	127
11	新型コロナウイルス感染症対策	129
	(1) 人が集まる場所に求める対策	129
12	区制50周年	130
	(1) 区制50周年を知ったきっかけ	130
13	自由意見	131
Ⅲ	質問と回答	133

I 調查概要

1 調査の目的

この調査は、区政に対する区民の意識、要望を、地域特性を踏まえて多面的に調査を行うことで明らかにし、調査結果を区政運営や地域課題の解決に係る基礎資料として活用することを目的として実施した。

2 調査の方法

- (1) 調査地域 …………… 川崎市中原区全域
- (2) 調査対象 …………… 区内に在住する満 18 歳以上の男女（外国籍の区民を含む）
- (3) 標本数 …………… 2,000 サンプル
- (4) 標本抽出方法 …… 住民基本台帳に基づく単純無作為抽出
- (5) 調査方法 …………… 郵送法
- (6) 調査期間 …………… 令和 4 年 7 月 27 日(水)～令和 4 年 8 月 26 日(金)
(最終回収日：令和 4 年 9 月 20 日(火))
- (7) 調査委託機関 …… 山上技術士事務所

3 調査の項目

- (1) 区民の定住性
- (2) 生活環境評価
- (3) 区役所業務の評価・区のイメージ
- (4) 中原区役所の広報
- (5) 中原区役所の環境
- (6) 子育て支援
- (7) 地域包括ケアシステム
- (8) 地域の支え合い
- (9) 地域活動
- (10) 防災対策
- (11) 新型コロナウイルス感染症対策
- (12) 区制 50 周年
- (13) 自由意見

4 回収状況

- (1) 調査票配布数 2,000
- (2) 有効回収数 868 (有効回収率 43.4%)

5 この報告書の見方

- (1) 図表中の「n」(number of case の略) は各設問の回答者数を示し、比率算出の基数である。
- (2) 集計は百分率とし、小数点第2位を四捨五入して算出した。したがって、回答比率を合計しても100.0%にならない場合がある。
- (3) 回答の比率(%)は、その設問の回答者数を基数として算出した。したがって、複数回答の設問は、すべての比率を合計すると100.0%を超えることがある。
- (4) 標本誤差は回答者数と得られた結果の比率によって異なるが、無作為抽出法による場合の誤差(信頼度95%)は次の式によって得られる。

<標本誤差算出式>

$$b = 2 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}}$$

b = 標本誤差 (無作為抽出法の場合)
 N = 母集団全体
 n = 比率算出の基数 (回答者数)
 P = 回答の比率

今回の調査結果の場合、誤差及び信頼の範囲は下表のとおりであり、「ある設問の回答者数が868人で、その設問中の選択肢の回答比率が60%であった場合、その回答比率の誤差の範囲は±3.33である」ということとなる。

<標本誤差早見表> (信頼度：95%)

回答比率 (P) 基数 (n)	10%または 90%前後	20%または 80%前後	30%または 70%前後	40%または 60%前後	50%前後
868	±2.04%	±2.72%	±3.11%	±3.33%	±3.39%
800	±2.12%	±2.83%	±3.24%	±3.46%	±3.54%
600	±2.45%	±3.27%	±3.74%	±4.00%	±4.08%
400	±3.00%	±4.00%	±4.58%	±4.90%	±5.00%
200	±4.24%	±5.66%	±6.48%	±6.93%	±7.07%
100	±6.00%	±8.00%	±9.17%	±9.80%	±10.00%

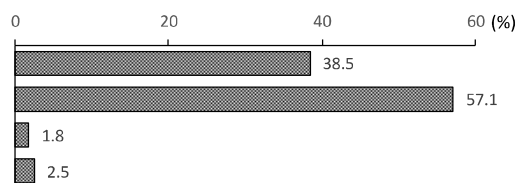
(注) N は n より非常に大きいため、 $\frac{N-n}{N-1} \doteq 1$ とみなせるので、 $\frac{N-n}{N-1} = 1$ として計算した。

- (5) クロス集計時に、基数 (n) が小さい数字になる場合は誤差が大きいため注意が必要である。本報告書では、基数 (n) が5以下の場合は分析対象外とした。
- (6) クロス集計について、分析の軸となる設問の回答の「無回答」は表示していない。ただし、全体の件数には含めているので、分析軸に表記した回答者数の合計が、全体の件数と一致しないことがある。

6 回答者の属性

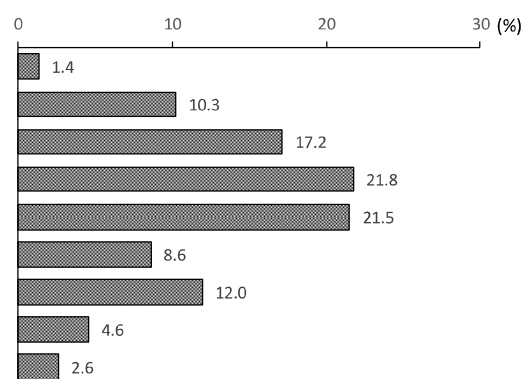
(1) 性別

選択肢	基数(人)	構成比(%)
1 男性	334	38.5
2 女性	496	57.1
3 回答しない	16	1.8
無回答	22	2.5
合計	868	100.0



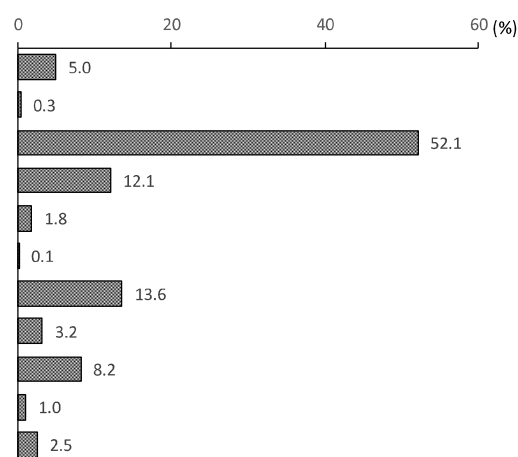
(2) 年代

選択肢	基数(人)	構成比(%)
1 18～19歳	12	1.4
2 20～29歳	89	10.3
3 30～39歳	149	17.2
4 40～49歳	189	21.8
5 50～59歳	187	21.5
6 60～64歳	75	8.6
7 65～74歳	104	12.0
8 75歳以上	40	4.6
無回答	23	2.6
合計	868	100.0



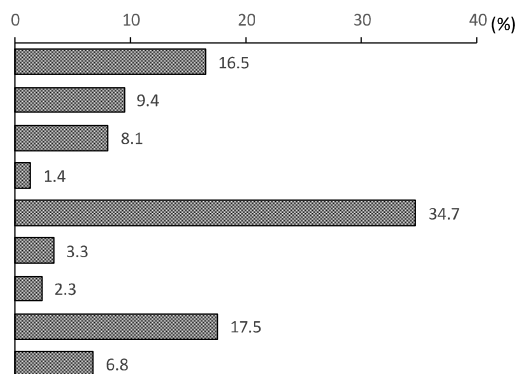
(3) 職業

選択肢	基数(人)	構成比(%)
1 自営業	43	5.0
2 家族従業(家事手伝い)	3	0.3
3 勤め(全日)	452	52.1
4 勤め(パートタイム)	105	12.1
5 アルバイト	16	1.8
6 内職	1	0.1
7 専業主夫・婦	118	13.6
8 学生	28	3.2
9 無職	71	8.2
10 その他	9	1.0
無回答	22	2.5
合計	868	100.0



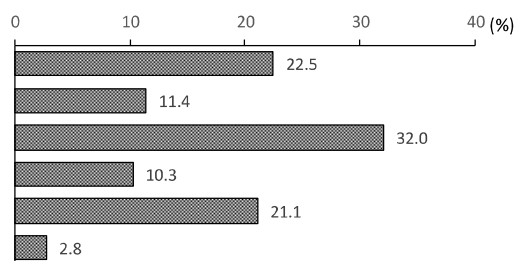
(4) 通勤・通学先

選択肢	基数(人)	構成比(%)
1 川崎市 (中原区)	143	16.5
2 川崎市 (他の区)	82	9.4
3 横浜市	70	8.1
4 神奈川県内 (川崎、横浜以外)	12	1.4
5 東京都 (23区内)	301	34.7
6 東京都 (23区外)	29	3.3
7 その他	20	2.3
8 通勤・通学していない	152	17.5
無回答	59	6.8
合 計	868	100.0



(5) 居住地区 (※)

選択肢	基数(人)	構成比(%)
1 小杉地区	195	22.5
2 玉川地区	99	11.4
3 大戸地区	278	32.0
4 丸子地区	89	10.3
5 住吉地区	183	21.1
無回答	24	2.8
合 計	868	100.0

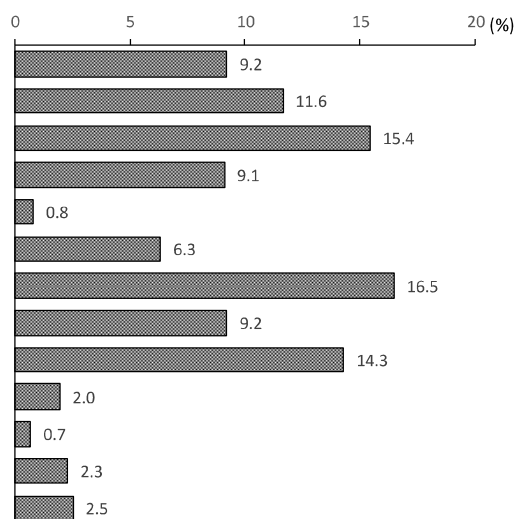


(※) 居住地区の分類

地区名	町 丁 名
小杉地区	市ノ坪、今井上町、今井仲町、今井西町、今井南町、小杉、小杉御殿町1・2丁目、小杉陣屋町1・2丁目、小杉町1～3丁目、等々力
玉川地区	上平間、北谷町、下沼部、田尻町、中丸子
大戸地区	上小田中1～7丁目、上新城1・2丁目、下小田中1～6丁目、下新城1～3丁目、新城、新城1～5丁目、新城中町、宮内1～4丁目
丸子地区	上丸子、上丸子山王町1・2丁目、上丸子天神町、上丸子八幡町、新丸子東1～3丁目、新丸子町、丸子通1・2丁目
住吉地区	井田1～3丁目、井田三舞町、井田杉山町、井田中ノ町、大倉町、荻宿、木月1～4丁目、木月伊勢町、木月祇園町、木月住吉町、木月大町、西加瀬

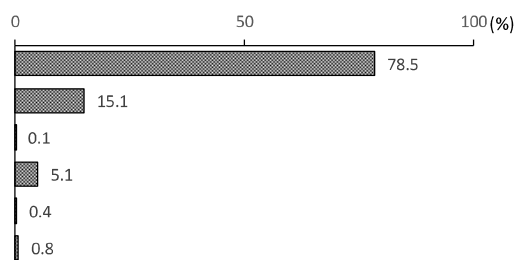
(6) よく利用する駅

選択肢	基数(人)	構成比(%)
1 J R 武蔵小杉 (南武線)	80	9.2
2 J R 武蔵小杉 (横須賀線)	101	11.6
3 J R 武蔵中原	134	15.4
4 J R 武蔵新城	79	9.1
5 J R 向河原	7	0.8
6 J R 平間	55	6.3
7 東急武蔵小杉	143	16.5
8 東急新丸子	80	9.2
9 東急元住吉	124	14.3
10 東急日吉	17	2.0
11 その他	6	0.7
12 駅は利用しない	20	2.3
無回答	22	2.5
合計	868	100.0



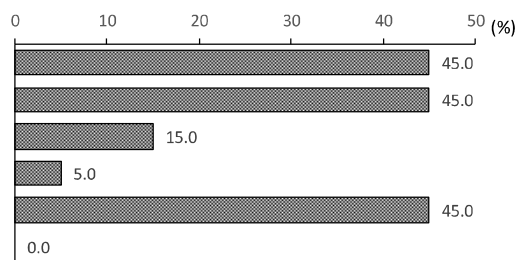
(7) よく利用する駅までの主な交通手段 ((6)で「1」～「11」と回答した方に対する質問)

選択肢	基数(人)	構成比(%)
1 徒歩	648	78.5
2 自転車	125	15.1
3 バイク	1	0.1
4 バス	42	5.1
5 自家用車	3	0.4
無回答	7	0.8
合計	826	100.0



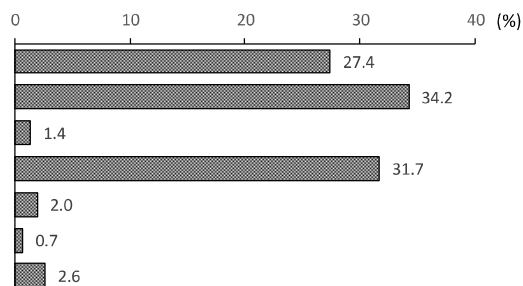
(8) 普段利用する交通手段 ((6)で「駅は利用しない」と回答した方に対する質問)

選択肢	基数(人)	構成比(%)
1 徒歩	9	45.0
2 自転車	9	45.0
3 バイク	3	15.0
4 バス	1	5.0
5 自家用車	9	45.0
無回答	0	0.0
合計	20	100.0



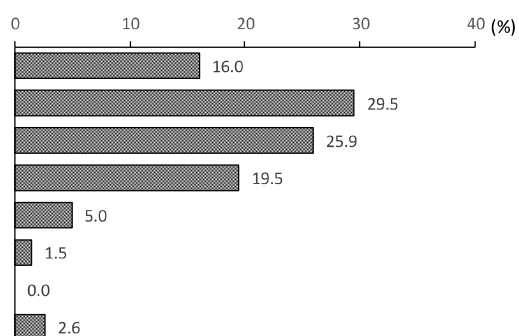
(9) 住居形態

選択肢	基数(人)	構成比(%)
1 持家(一戸建)	238	27.4
2 持家(マンション・集合住宅)	297	34.2
3 借家(一戸建)	12	1.4
4 借家(マンション・集合住宅)	275	31.7
5 社宅・寮・公務員社宅	17	2.0
6 その他	6	0.7
無回答	23	2.6
合計	868	100.0



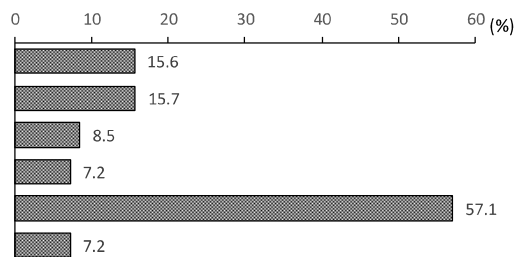
(10) 家族人数

選択肢	基数(人)	構成比(%)
1 1人	139	16.0
2 2人	256	29.5
3 3人	225	25.9
4 4人	169	19.5
5 5人	43	5.0
6 6人	13	1.5
7 7人以上	0	0.0
無回答	23	2.6
合計	868	100.0



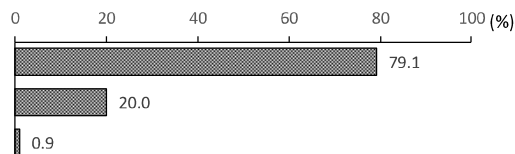
(10-1) 高校生以下の家族との同居 (複数回答、(10)で「2人」～「7人以上」と回答した方に対する質問)

選択肢	基数(人)	構成比(%)
1 未就学児	110	15.6
2 小学生	111	15.7
3 中学生	60	8.5
4 高校生	51	7.2
5 いない	403	57.1
無回答	51	7.2
合計	706	100.0



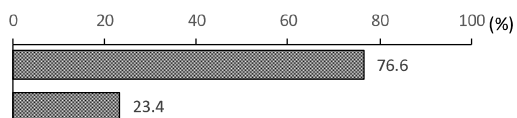
(10-2) 同居している未就学児の人数 (複数回答、(10-1)で「未就学児」と回答した方に対する質問)

回答	基数(人)	構成比(%)
1 1人	87	79.1
2 2人	22	20.0
3 3人	1	0.9
合計	110	100.0



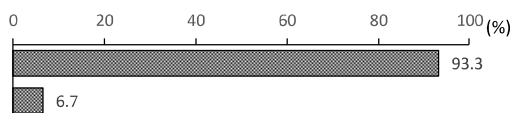
(10-3) 同居している小学生の人数 (複数回答、(10-1)で「小学生」と回答した方に対する質問)

回答	基数(人)	構成比(%)
1 1人	85	76.6
2 2人	26	23.4
合計	111	100.0



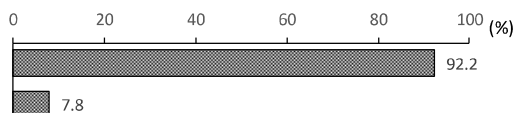
(10-4) 同居している中学生の人数 (複数回答、(10-1)で「中学生」と回答した方に対する質問)

回答	基数(人)	構成比(%)
1 1人	56	93.3
2 2人	4	6.7
合計	60	100.0



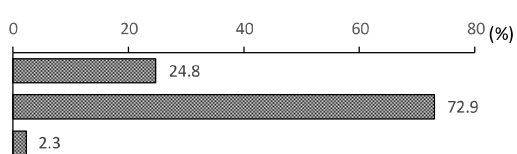
(10-5) 同居している高校生の人数 (複数回答、(10-1)で「高校生」と回答した方に対する質問)

回答	基数(人)	構成比(%)
1 1人	47	92.2
2 2人	4	7.8
合計	51	100.0



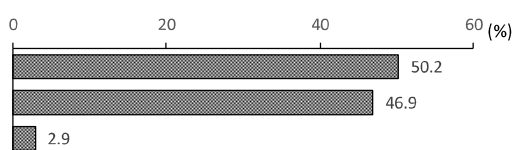
(10-6) 65歳以上の家族との同居 (複数回答、(10)で「2人」～「7人以上」と回答した方に対する質問)

選択肢	基数(人)	構成比(%)
1 いる	175	24.8
2 いない	515	72.9
無回答	16	2.3
合計	706	100.0



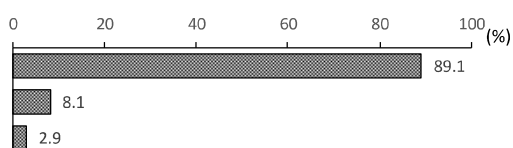
(11) 町内会・自治会の加入状況

選択肢	基数(人)	構成比(%)
1 加入している	436	50.2
2 加入していない	407	46.9
無回答	25	2.9
合計	868	100.0



(12) インターネットの利用状況

選択肢	基数(人)	構成比(%)
1 利用している	773	89.1
2 利用していない	70	8.1
無回答	25	2.9
合計	868	100.0



Ⅱ 調査結果の詳細

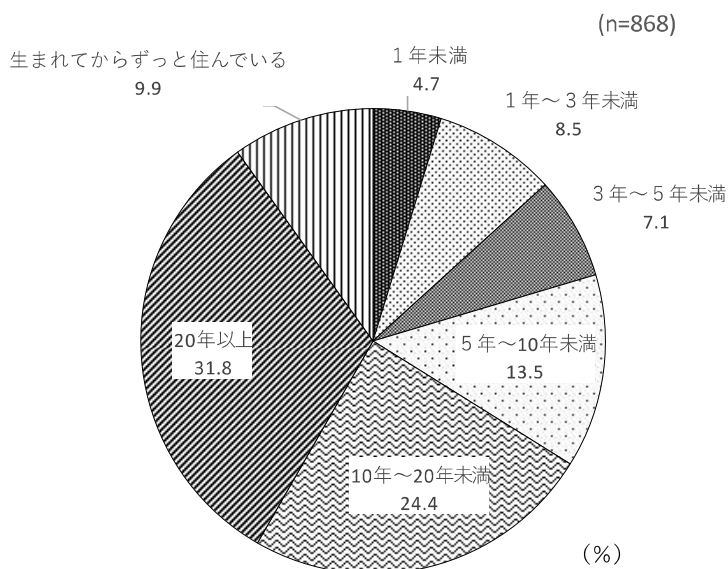
1 区民の定住性

(1) 居住年数

問1 中原区にお住まいになって何年になりますか。(○は1つだけ)

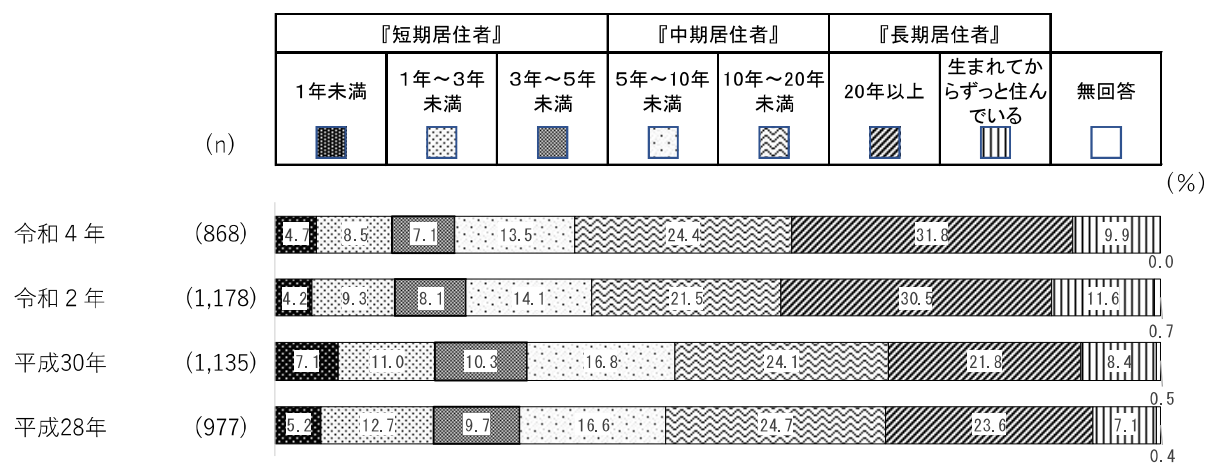
居住年数を聞いたところ、「20年以上」(31.8%)と「生まれてからずっと住んでいる」(9.9%)の2つを合わせた『長期居住者』(41.7%)は4割を超えている。「5年～10年未満」(13.5%)と「10年～20年未満」(24.4%)の2つを合わせた『中期居住者』(37.9%)は4割弱で、「1年未満」(4.7%)、「1年～3年未満」(8.5%)、「3年～5年未満」(7.1%)の3つを合わせた『短期居住者』(20.4%)は2割程度となっている。(図表 1-1-1)

図表 1-1-1 居住年数



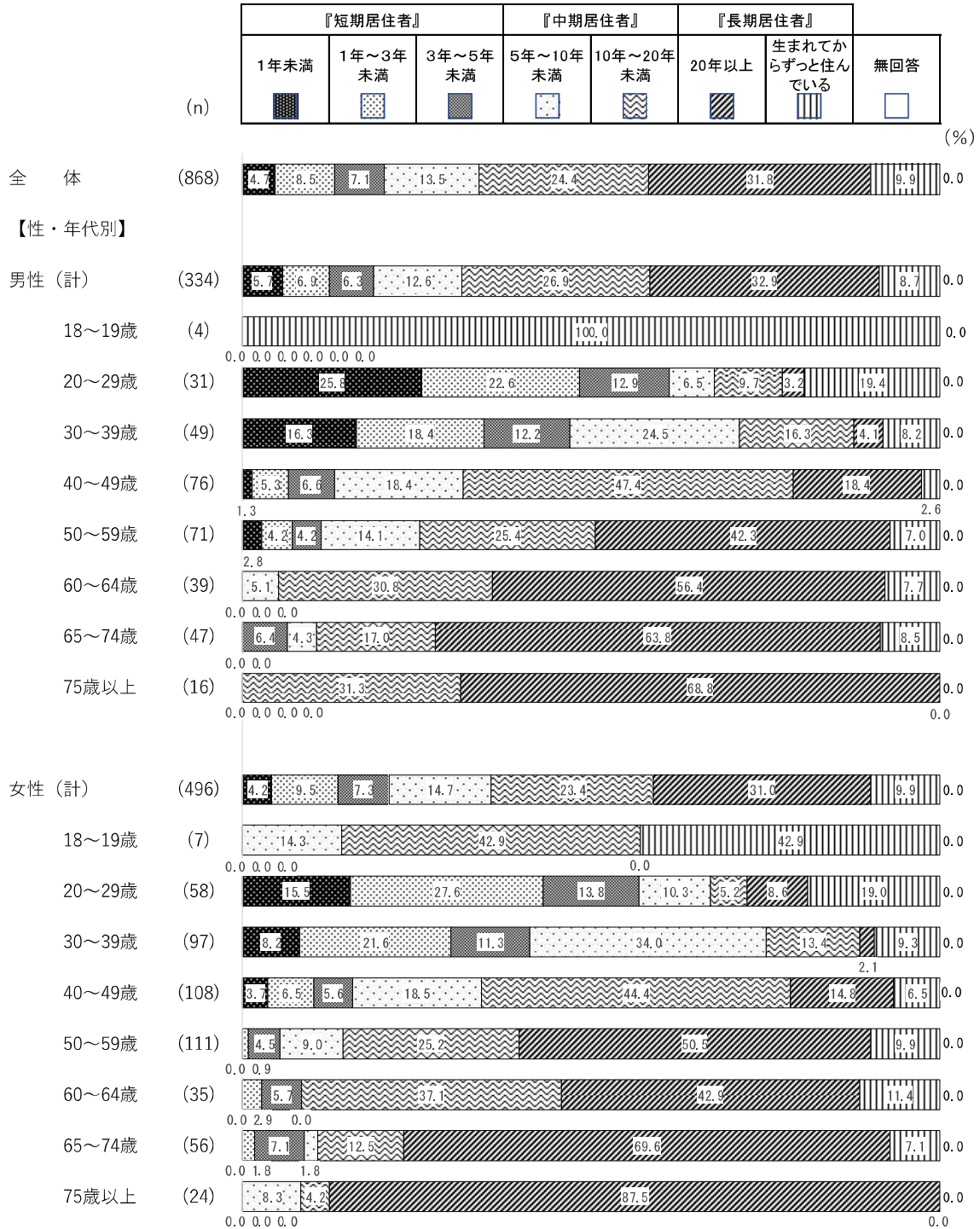
過去の調査と比較すると、前回調査より『短期居住者』は1.3ポイント減少し、『長期居住者』は0.4ポイント増加したが、今回調査は前回調査と比べて大きな変化はない。(図表 1-1-2)

図表 1-1-2 居住年数—過去の調査との比較



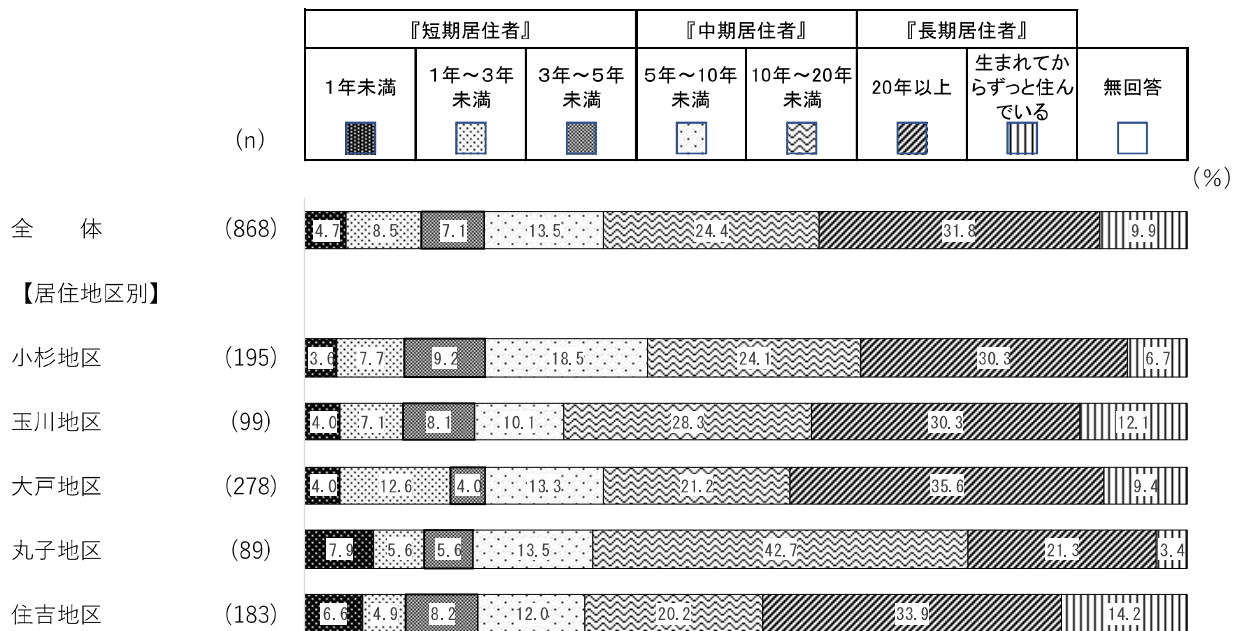
性・年代別にみると、『短期居住者』は男女ともに20～29歳(男性61.3%、女性56.9%)が過半数を占めている。『中期居住者』は男女ともに40～49歳(男性65.8%、女性63.0%)が約6割以上、『長期居住者』は男性65歳以上が7割前後、女性65歳以上が8割前後を占めている。(図表1-1-3)

図表 1-1-3 居住年数一性・年代別



居住地区別にみると、『短期居住者』はいずれの地区でも2割前後となっている。『中期居住者』は丸子地区(56.2%)が5割強、『長期居住者』は住吉地区(48.1%)が5割弱が多かった。(図表 1-1-4)

図表 1-1-4 居住年数一居住地区別

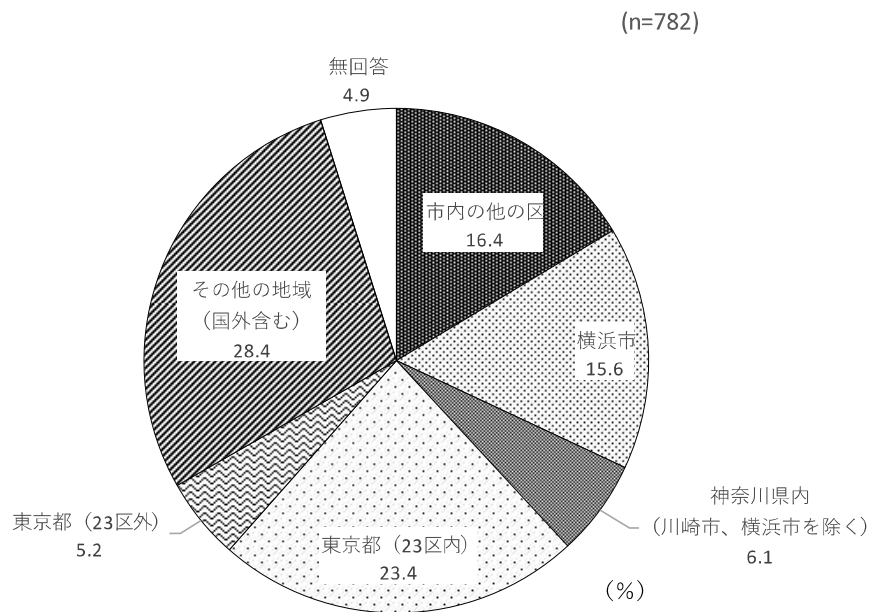


(2) 以前の居住地

問1-1 (問1で、「生まれてからずっと住んでいる」以外を回答した方に)
 中原区に住む以前はどちらにお住まいでしたか。(〇は1つだけ)

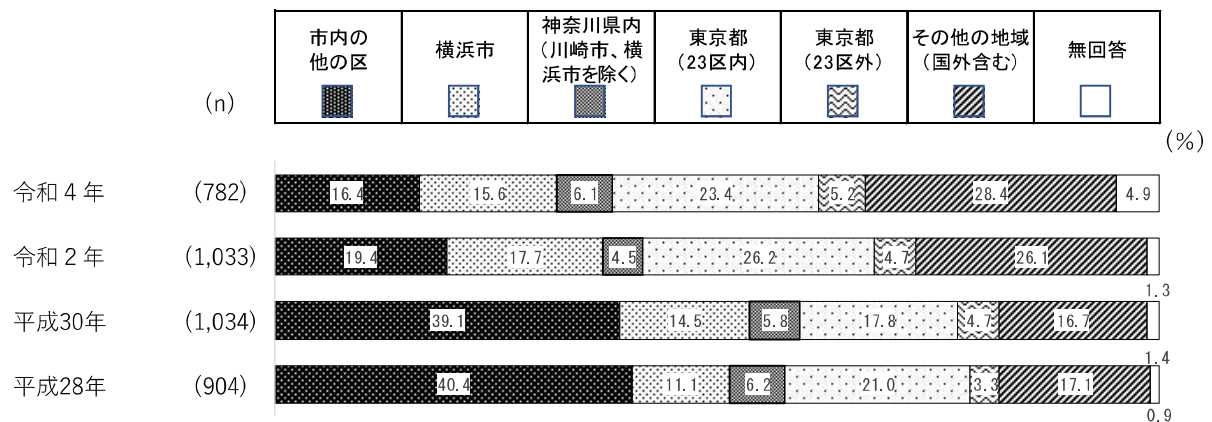
中原区に「生まれてからずっと住んでいる」以外と回答した方(782人)に、以前の居住地を聞いたところ、「その他の地域(国外含む)」(28.4%)が3割弱で最も多く、次いで「東京都(23区内)」(23.4%)、「市内の他の区」(16.4%)、「横浜市」(15.6%)となっている。(図表 1-2-1)

図表 1-2-1 以前の居住地



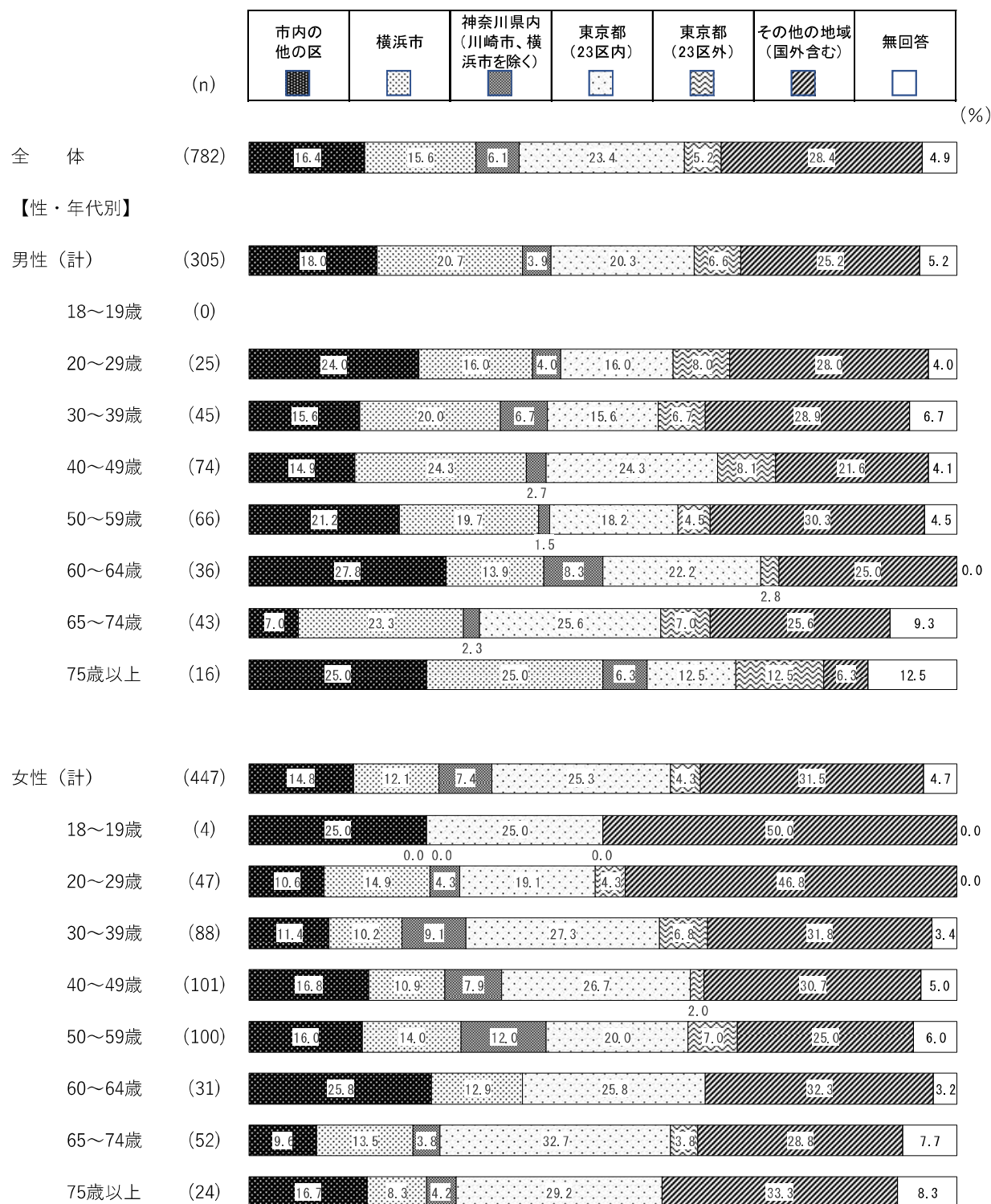
過去の調査と比較すると、前回調査より「市内の他の区」は3.0ポイント減少、「東京都(23区内)」は2.8ポイント減少、「その他の地域(国外含む)」は2.3ポイント増加している。(図表 1-2-2)

図表 1-2-2 以前の居住地—過去の調査との比較



性・年代別にみると、「市内の他の区」は男性 60～64 歳 (27.8%) が3割近くと多かった。「東京都(23 区内)」は女性 65～74 歳 (32.7%) が3割強、「その他の地域(国外含む)」は女性 20～29 歳 (46.8%) が半数近くを占めている。
(図表 1-2-3)

図表 1-2-3 以前の居住場所－性・年代別

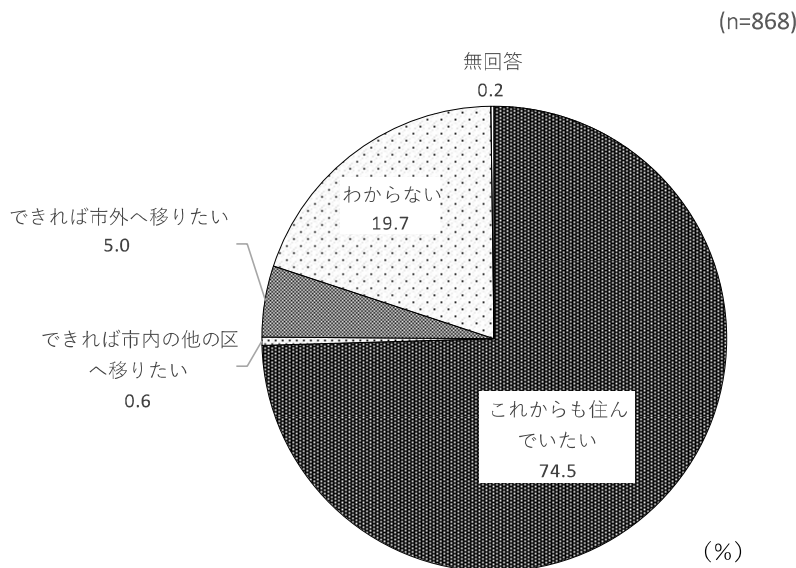


(3) 定住意向

問2 これからも中原区にお住まいになる予定ですか。(○は1つだけ)

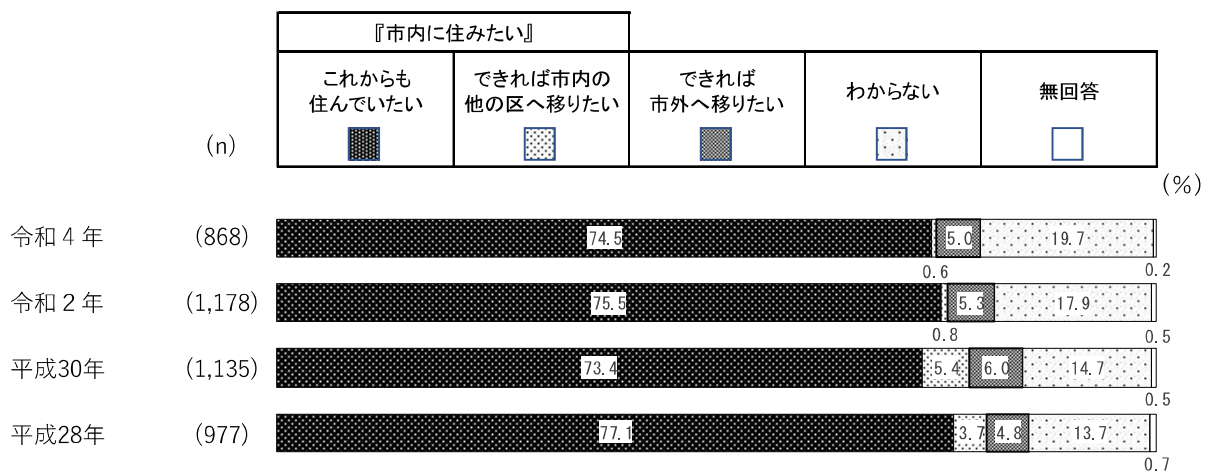
定住意向を聞いたところ、「これからも住んでいたい」(74.5%)と「できれば市内の他の区へ移りたい」(0.6%)を合わせた『市内に住みたい』(75.1%)が7割半ばを占めている。一方、「できれば市外へ移りたい」(5.0%)は1割未満となっている。(図表 1-3-1)

図表 1-3-1 定住意向



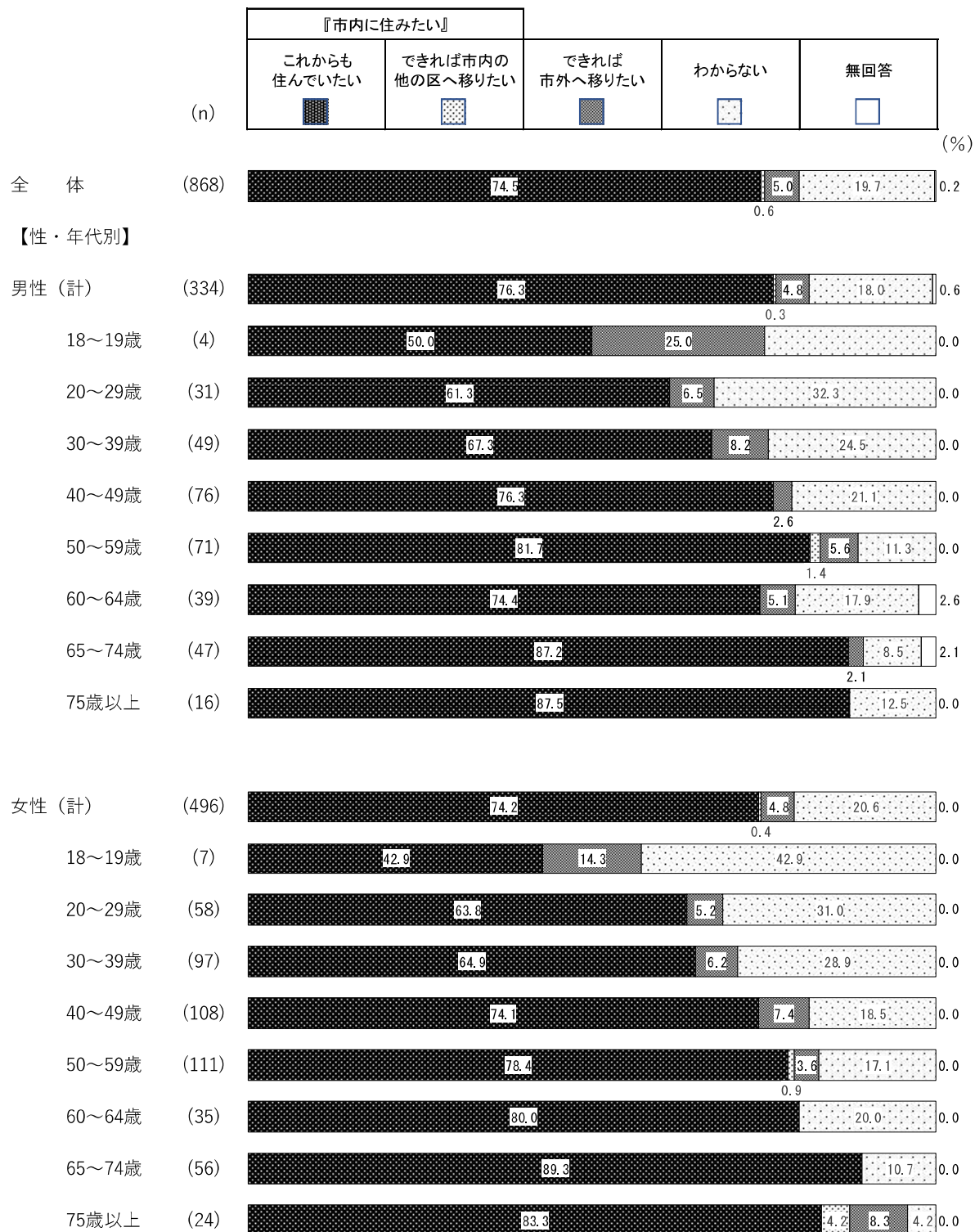
過去の調査と比較すると、前回調査より「これからも住んでいたい」(74.5%)が1.0ポイント減少し、一方、「わからない」(19.7%)は1.8ポイント増加している。(図表 1-3-2)

図表 1-3-2 定住意向—過去の調査との比較



性・年代別にみると、「これからも住んでいたい」は男性 75 歳以上(87.5%)・女性 65～74 歳(89.3%)が9割弱と多く、おおむね年代が上がるほど割合が高くなる傾向にある。「できれば市外へ移りたい」は女性 18～19 歳(14.3%)が多かった。(図表 1-3-3)

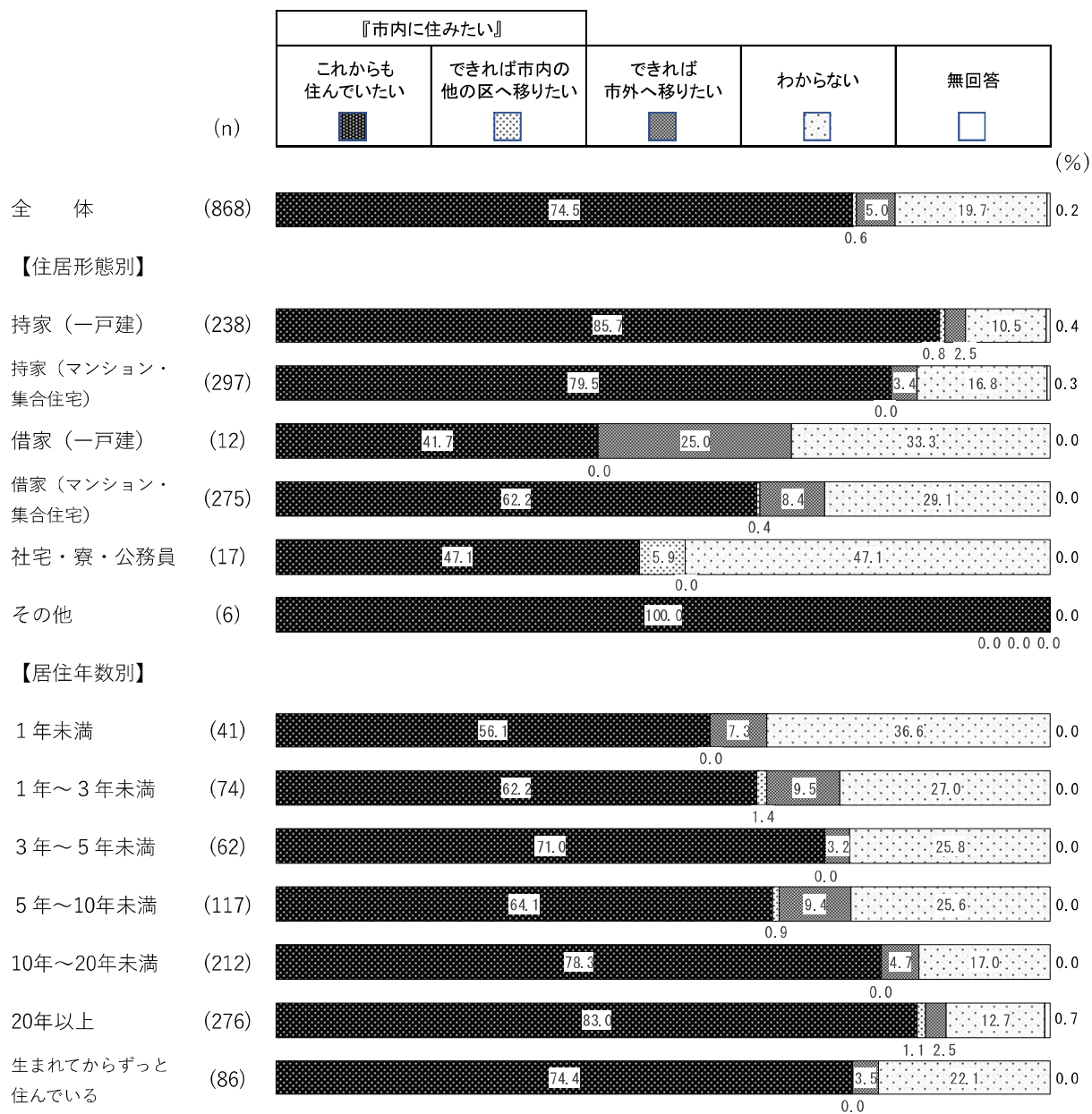
図表 1-3-3 定住意向一性・年代別



住居形態別にみると、「これからも住んでいたい」は持家（一戸建て）（85.7%）が8割以上を占めている。「できれば市外へ移りたい」は借家（一戸建て）（25.0%）が多かった。

居住年数別にみると、「これからも住んでいたい」は20年以上（83.0%）が8割強を占めている。「できれば市外へ移りたい」は1年～3年未満（9.5%）・5年～10年未満（9.4%）で1割弱となっている。（図表 1-3-4）

図表 1-3-4 定住意向－住居形態別・居住年数別



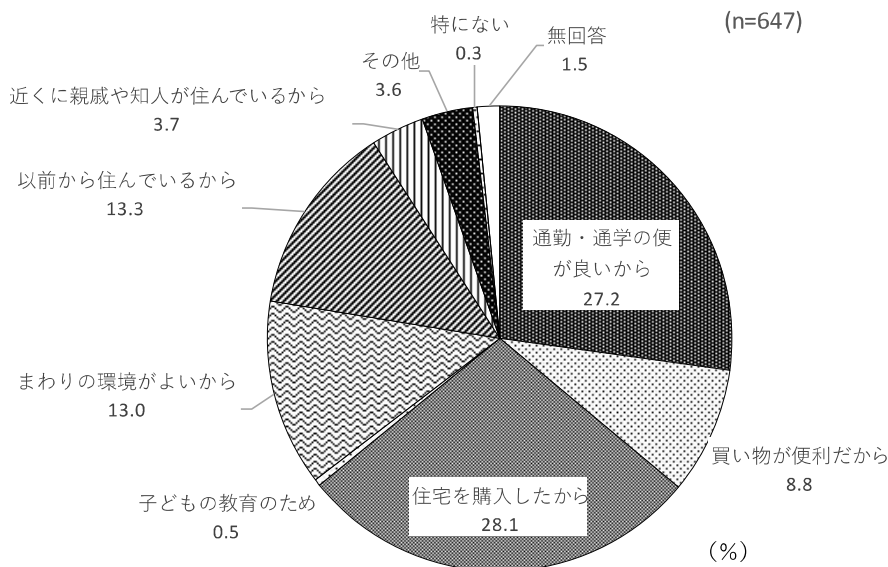
(4) 定住したい理由

問2-1 (問2で、「これからも住んでいたい」と回答した方に)

中原区に住んでいたい主な理由は何ですか。(〇は1つだけ)

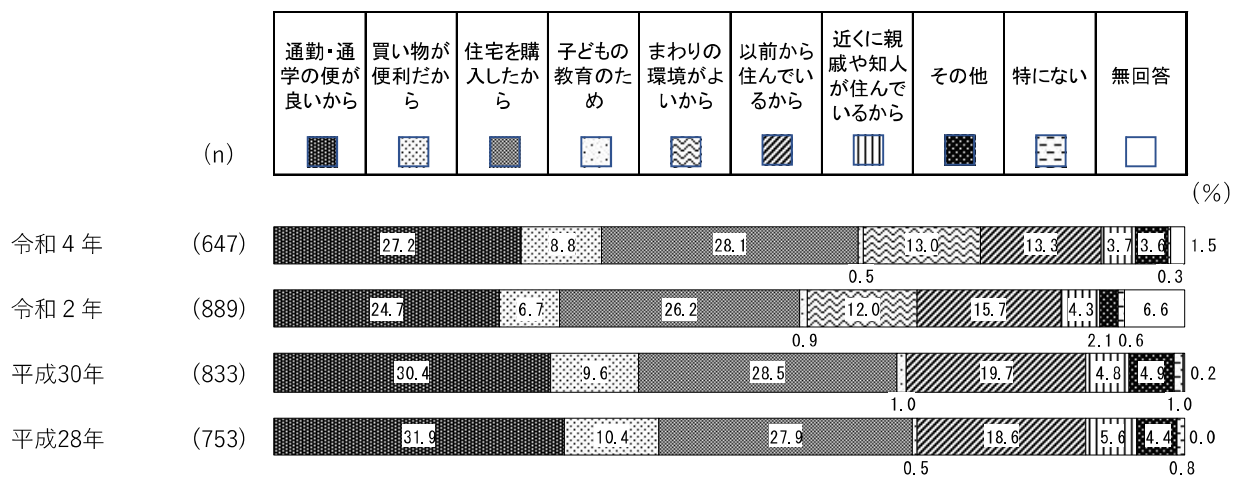
中原区に「これからも住んでいたい」と回答した方(647人)に、その理由を聞いたところ、「住宅を購入したから」(28.1%)が3割弱で最も多く、次いで「通勤・通学の便が良いから」(27.2%)、「以前から住んでいるから」(13.3%)、「まわりの環境がよいから」(13.0%)となっている。(図表 1-4-1)

図表 1-4-1 定住したい理由



過去の調査と比較すると、前回調査より「通勤・通学の便が良いから」が2.5ポイント増加、「買い物が便利だから」が2.1ポイント増加、「以前から住んでいるから」が2.4ポイント減少している。(図表 1-4-2)

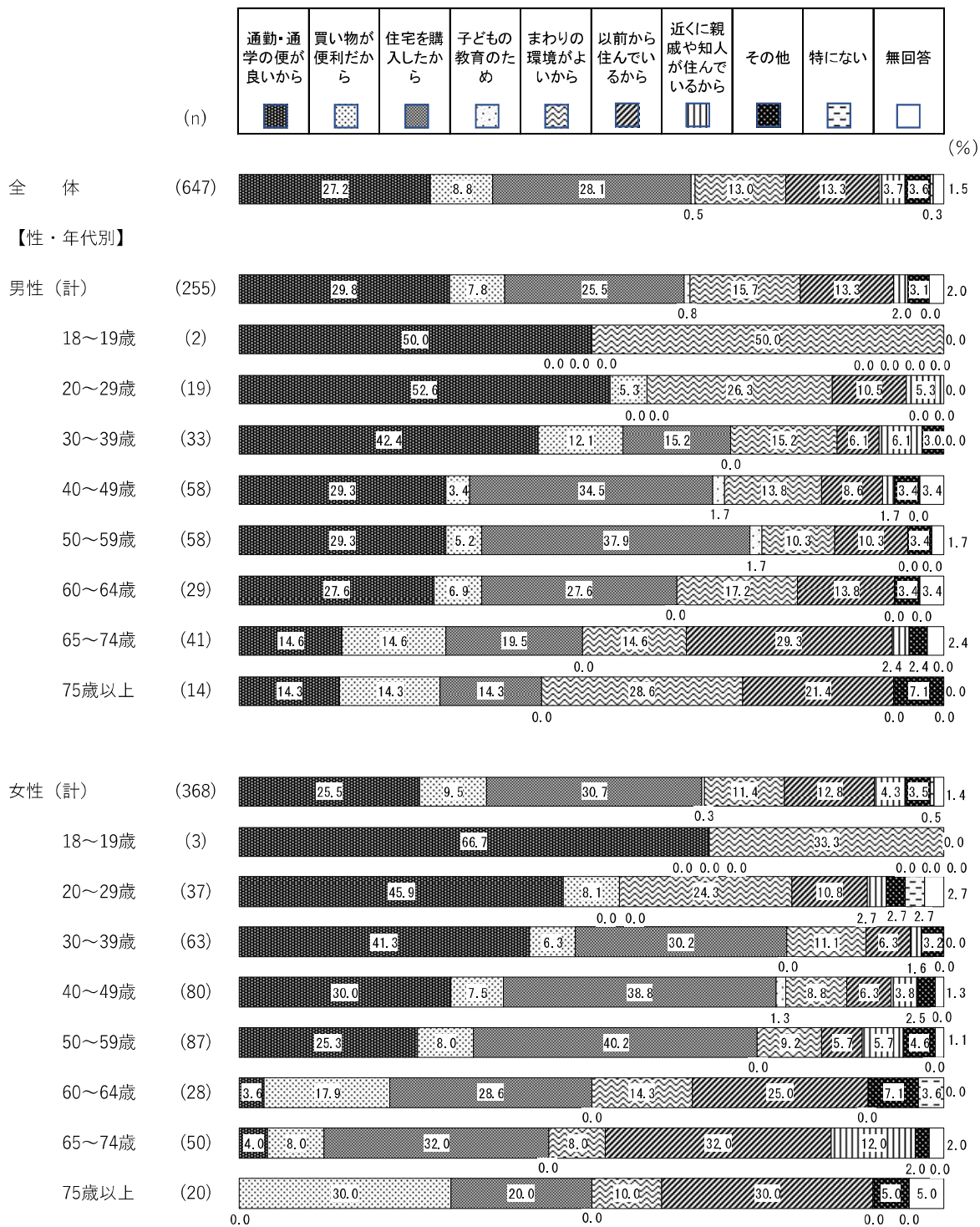
図表 1-4-2 定住したい理由—過去の調査との比較



※「まわりの環境がよいから」は令和2年からの新設選択肢。

性・年代別にみると、「通勤・通学の便が良いから」は男女ともにおおむね年代が下がるほど割合が高く、男性 20～29 歳 (52.6%) で5割強となっているが「以前から住んでいるから」は男性 65～74 歳 (29.3%)・女性 65～74 歳 (32.0%)・女性 75 歳以上 (30.0%) で3割前後と多かった。「住宅を購入したから」は男性、女性とも 40 代、50 代で4割前後となっている。(図表 1-4-3)

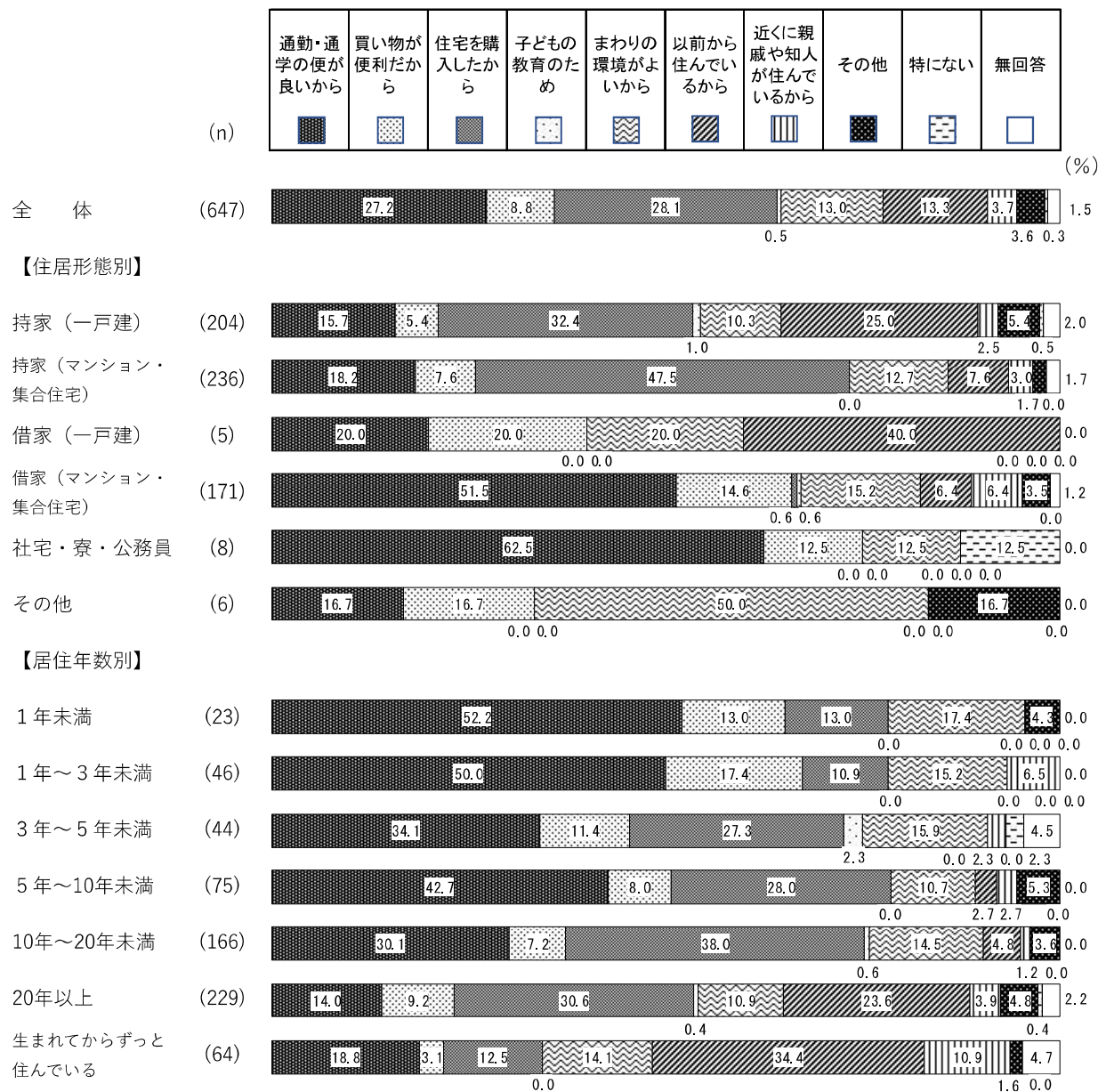
図表 1-4-3 定住したい理由一性・年代別



住居形態別にみると、「通勤・通学の便が良いから」は社宅・寮・公務員住宅(62.5%)・借家(マンション・集合住宅)(51.5%)で過半数となっている。「住宅を購入したから」は持家(マンション・集合住宅)(47.5%)が4割超と多かった。

居住年数別にみると、「通勤・通学の便が良いから」は1年未満(52.2%)・1年～3年未満(50.0%)で半数以上を占めている。「住宅を購入したから」は10年～20年未満(38.0%)で4割弱と多かった。(図表 1-4-4)

図表 1-4-4 定住したい理由－住居形態別・居住年数別

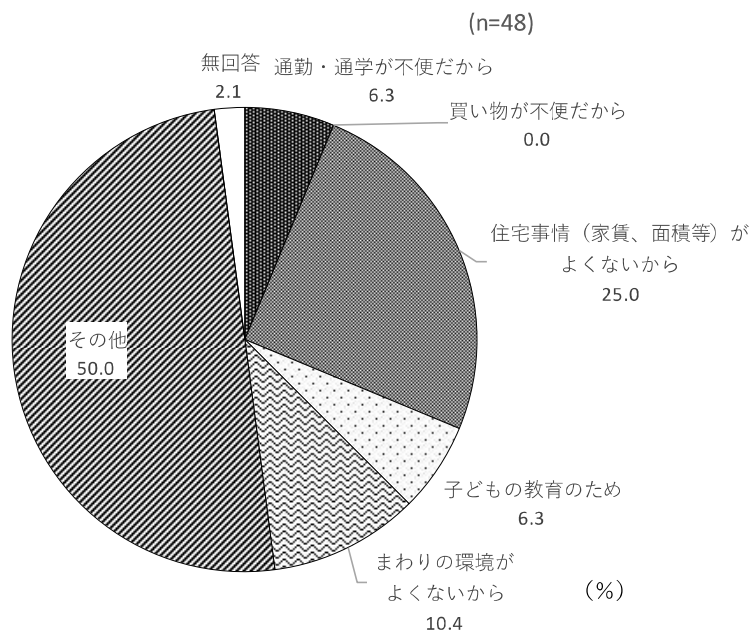


(5) 転出したい理由

問2-2 (問2で、「できれば市内の他の区へ移りたい」、「できれば市外へ移りたい」と回答した方に)
 中原区から移りたいという主な理由は何ですか。(○は1つだけ)

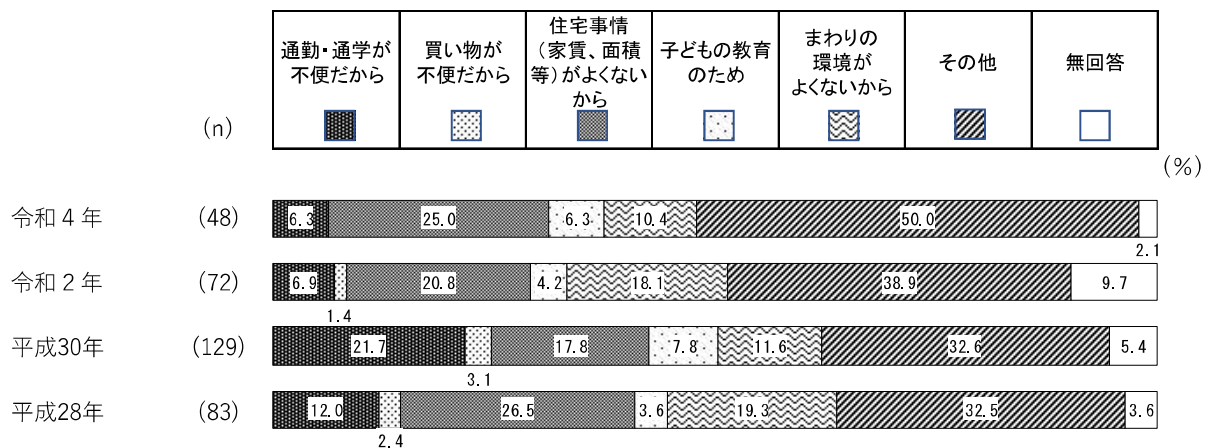
中原区から「できれば市内の他の区へ移りたい」、「できれば市外へ移りたい」と回答した方(48人)に、その理由を聞いたところ、「住宅事情(家賃、面積等)がよくないから」(25.0%)が2割半ばで最も多く、次いで「まわりの環境がよくないから」(10.4%)、「通勤・通学が不便だから」(6.3%)、「子どもの教育のため」(6.3%)となっている。(図表 1-5-1)

図表 1-5-1 転出したい理由



過去の調査と比較すると、前回調査より「住宅事情(家賃、面積等)がよくないから」は4.2ポイント増加している。一方、「まわりの環境がよくないから」は7.7ポイント減少している。(図表 1-5-2)

図表 1-5-2 転出したい理由—過去の調査との比較



2 生活環境評価

(1) 生活環境の満足度

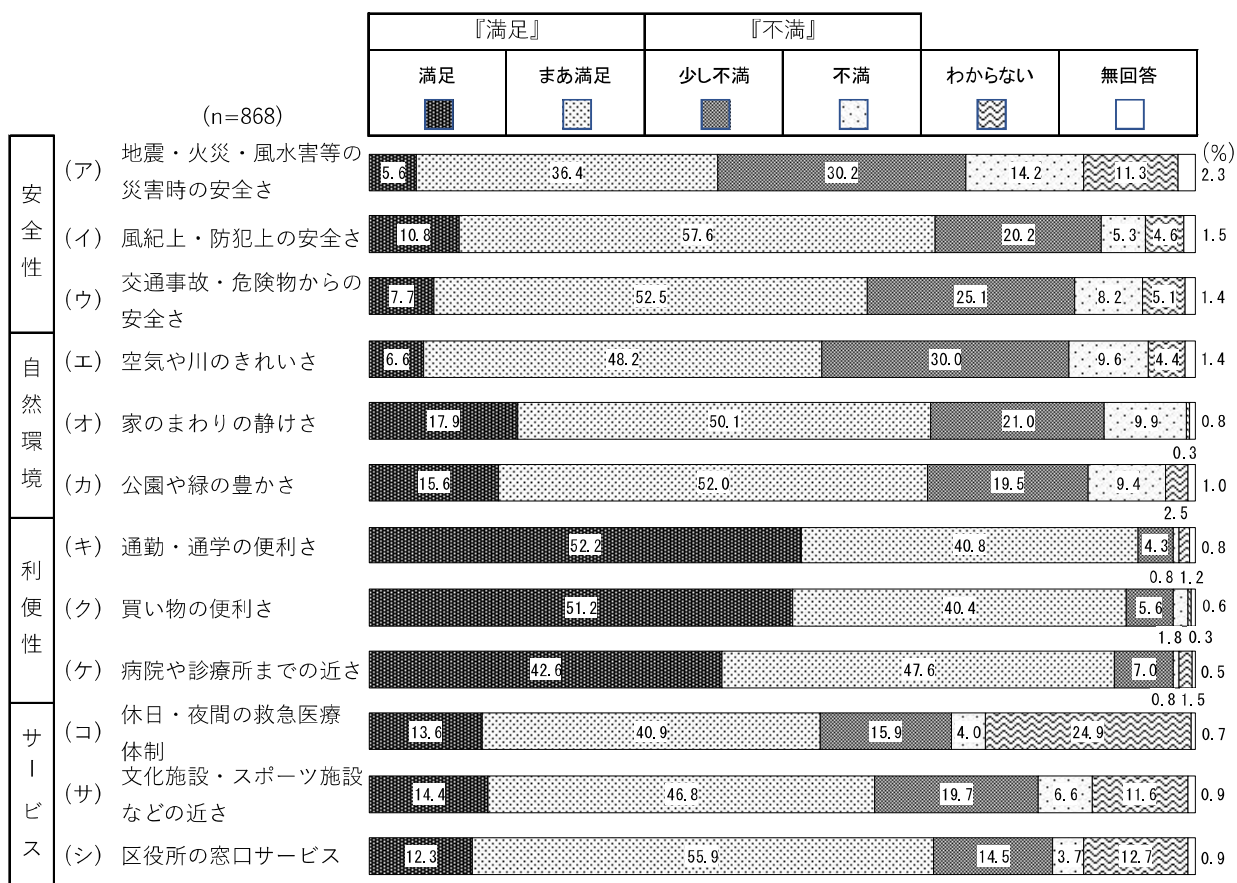
問3 中原区の生活環境についてお伺いします。次にあげる(ア)から(シ)のそれぞれの項目についての程度満足していますか。各項目について1つずつ選んでください。(○はそれぞれ1つ)

中原区の生活環境について、12項目に分けて満足度を聞いたところ、「満足」と「まあ満足」の2つを合わせた『満足』は、(キ)通勤・通学の便利さ(93.0%)が9割強で最も多く、次いで(ク)買い物の便利さ(91.6%)、(ケ)病院や診療所までの近さ(90.2%)となっている。

一方、「少し不満」と「不満」の2つを合わせた『不満』は、(ア)地震・火災・風水害等の災害時の安全さ(44.4%)が4割半ばで最も多く、次いで(エ)空気や川のきれいさ(39.5%)、(ウ)交通事故・危険物からの安全さ(33.3%)、(オ)家のまわりの静けさ(30.9%)となっている。

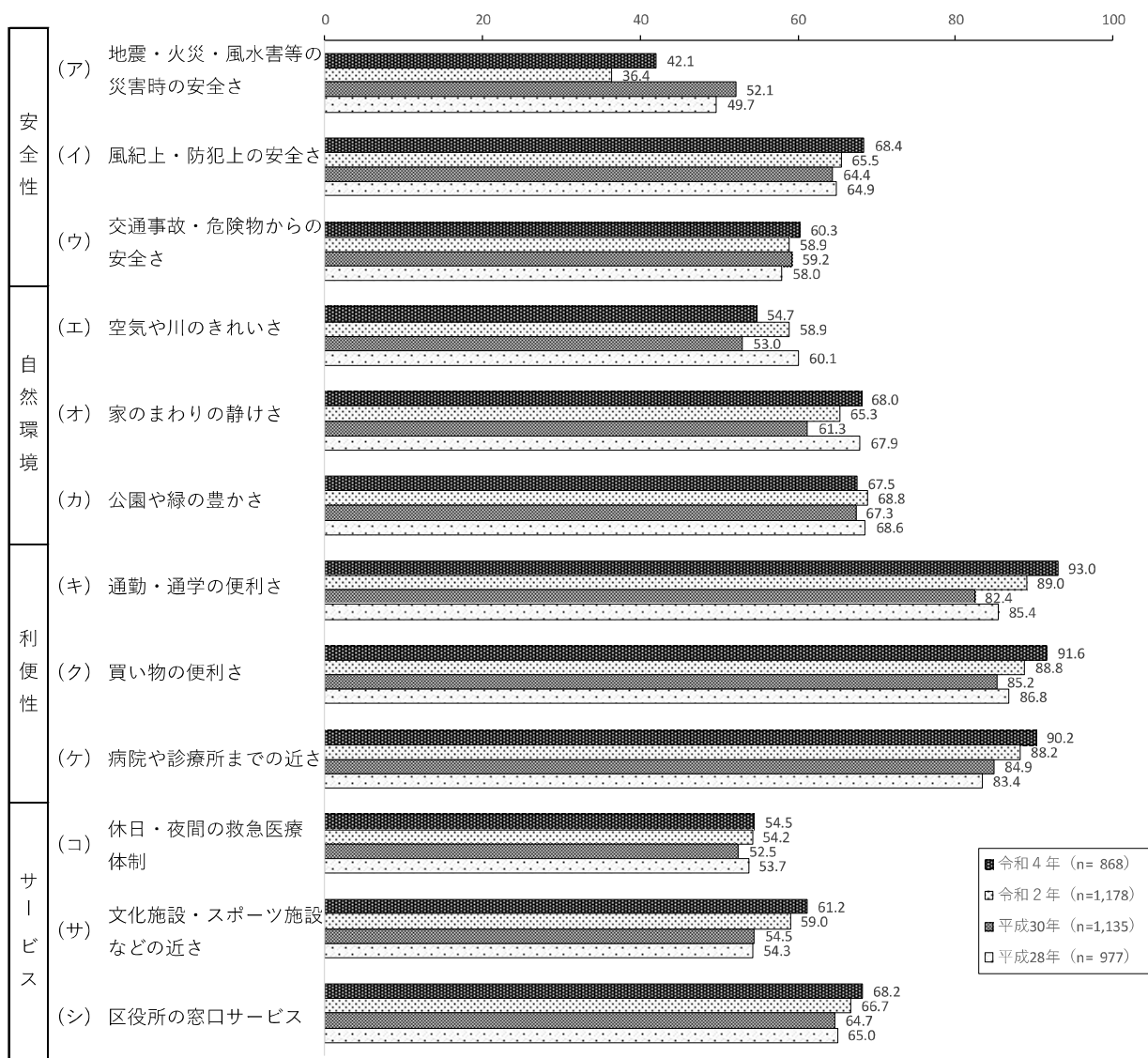
(図表 2-1-1)

図表 2-1-1 生活環境の満足度



「満足」と「まあ満足」の2つを合わせた『満足』を過去の調査と比較すると、(ア)地震・火災・風水害等の災害時の安全性(42.1%)が令和2年より5.7ポイント増加しているが、平成30年以前に比べると減少している。一方、(エ)空気や川のきれいさ(54.7%)が令和2年より4.2ポイント減少している。また、(キ)通勤・通学の便利さ(93.0%)・(ク)買物の便利さ(91.6%)・(ケ)病院や診療所までの近さ(90.2%)はいずれも9割強となっているほか、(イ)風紀上・防犯上の安全性、(コ)休日・夜間の救急医療体制、(サ)文化施設・スポーツ施設などの近さ、(シ)区役所の窓口サービスも過去の調査と比べて高くなっている。(図表 2-1-2)

図表 2-1-2 生活環境の満足度－『満足』の過去の調査との比較



12 項目にわたる生活環境の満足度の相互の比較をしやすくするために、以下のような加重平均値の計算式を用いた評価点を算出した。

$$\text{評価点} = (\text{「満足」の回答者数} \times 2 \text{点} + \text{「まあ満足」の回答者数} \times 1 \text{点} \\ + \text{「少し不満」の回答者数} \times -1 \text{点} + \text{「不満」の回答者数} \times -2 \text{点}) \div (\text{回答者数} - \text{無回答者数})$$

この計算方法では、評価点は+2.00 点～-2.00 点の間に分布し、+2点に近くなるほど満足度が高く、逆に-2 点に近くなるほど満足度が低くなる。

評価点の計算結果および地区別の評価点の計算結果は、以下の図表 2-1-3 のとおりである。

図表 2-1-3 生活環境の満足度－居住地区別

	中原区全体	小杉地区	玉川地区	大戸地区	丸子地区	住吉地区
(ア) 地震・火災・風水害等の災害時の安全さ	-0.11	-0.12	-0.48	0.11	-0.74	0.06
(イ) 風紀上・防犯上の安全さ	0.49	0.51	0.43	0.41	0.45	0.67
(ウ) 交通事故・危険物からの安全さ	0.27	0.22	0.21	0.27	0.33	0.34
(エ) 空気や川のきれいさ	0.12	0.08	0.02	0.22	-0.05	0.14
(オ) 家のまわりの静けさ	0.45	0.31	0.29	0.61	0.20	0.58
(カ) 公園や緑の豊かさ	0.45	0.34	0.56	0.53	0.23	0.52
(キ) 通勤・通学の便利さ	1.40	1.54	1.33	1.28	1.66	1.36
(ク) 買い物の便利さ	1.34	1.39	1.20	1.30	1.46	1.38
(ケ) 病院や診療所までの近さ	1.25	1.42	0.94	1.15	1.39	1.29
(コ) 休日・夜間の救急医療体制	0.44	0.66	0.20	0.39	0.44	0.45
(サ) 文化施設・スポーツ施設などの近さ	0.43	0.43	0.31	0.61	0.44	0.23
(シ) 区役所の窓口サービス	0.59	0.69	0.42	0.54	0.72	0.57

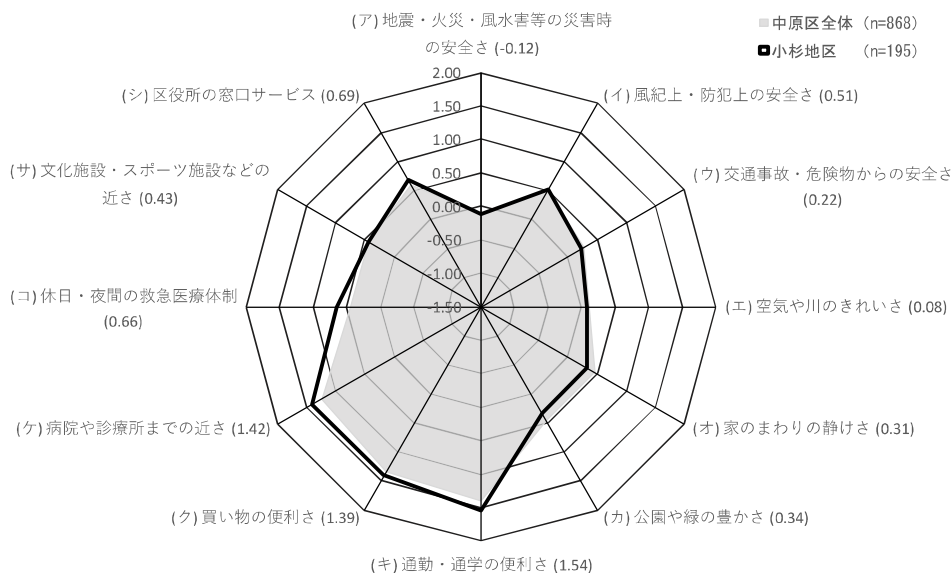
※図表中の網かけは、各項目で中原区全体と比べて低い値であることを示す。

また、以下の図表 2-1-4～図表 2-1-8 において、各居住地区の生活環境の満足度の評価点を、中原区全体と比較して示した。

さらに、以下の図表 2-1-9 と図表 2-1-10 において、問2(定住意向)の質問で「これからも住んでいたい」と答えた人と、「できれば市内の他の所へ移りたい」または「できれば市外へ移りたい」と答えた人の間で、どの項目で生活環境の満足度の評価の違いが大きいのか、中原区全体と比較して示した。

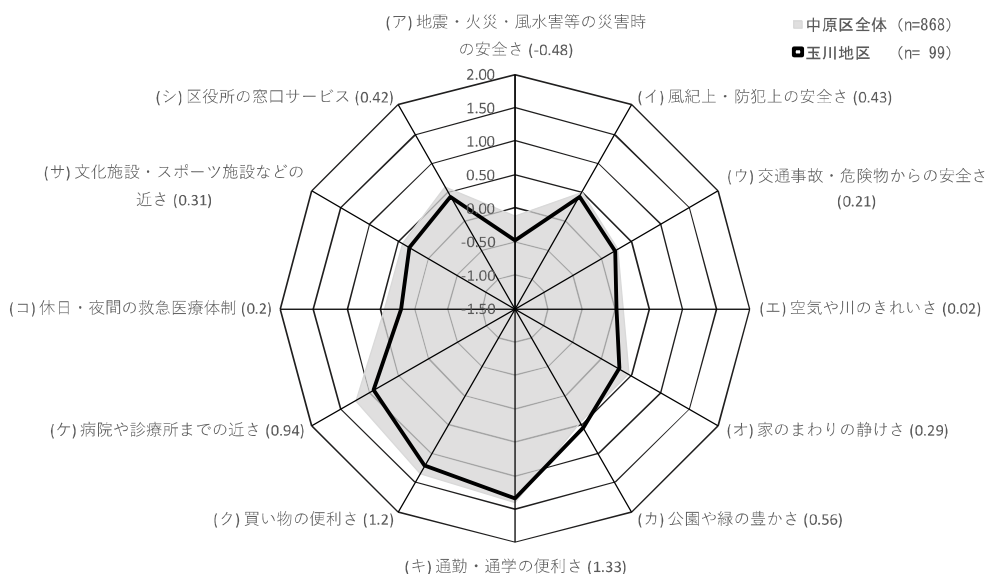
小杉地区で中原区全体と比べて評価が高い項目は、(コ) 休日・夜間の救急医療体制(+0.22)、(ケ) 病院や診療所までの近さ(+0.17)、(キ) 通勤・通学の便利さ(+0.14)、(シ) 区役所の窓口サービス(+0.10)など計7項目となっている。一方、中原区全体と比べて評価が低い項目は、(オ) 家のまわりの静けさ(-0.14)、(カ) 公園や緑の豊かさ(-0.14)など計5項目となっている。(図表 2-1-4)

図表 2-1-4 生活環境の満足度の評価点—小杉地区



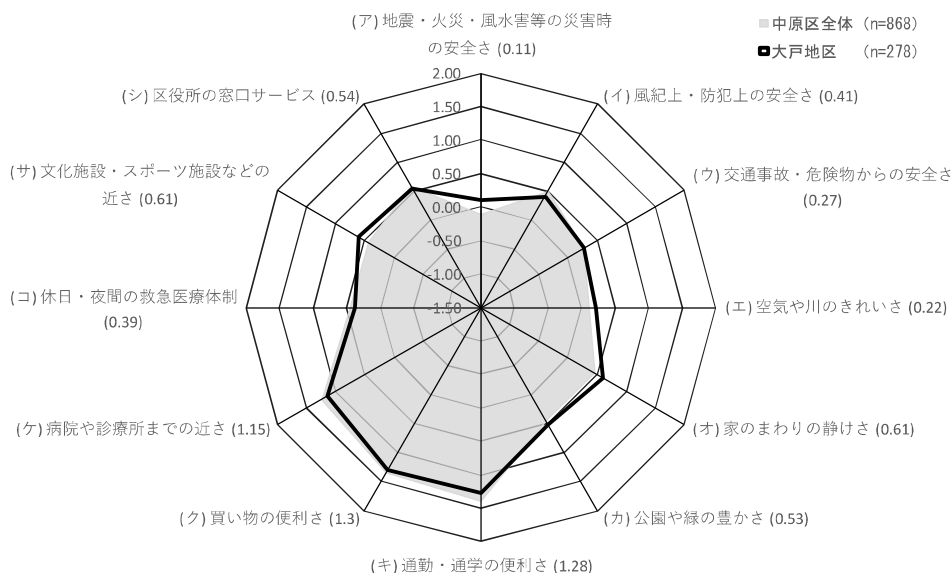
玉川地区で中原区全体と比べて評価が高い項目は、(カ) 公園や緑の豊かさ(+0.11)となっている。一方、中原区全体と比べて評価が低い項目は、(ア) 地震・火災・風水害等の災害時の安全さ(-0.37)、(ケ) 病院や診療所までの近さ(-0.31)、(コ) 休日・夜間の救急医療体制(-0.24)など計11項目となっている。(図表 2-1-5)

図表 2-1-5 生活環境の満足度の評価点—玉川地区



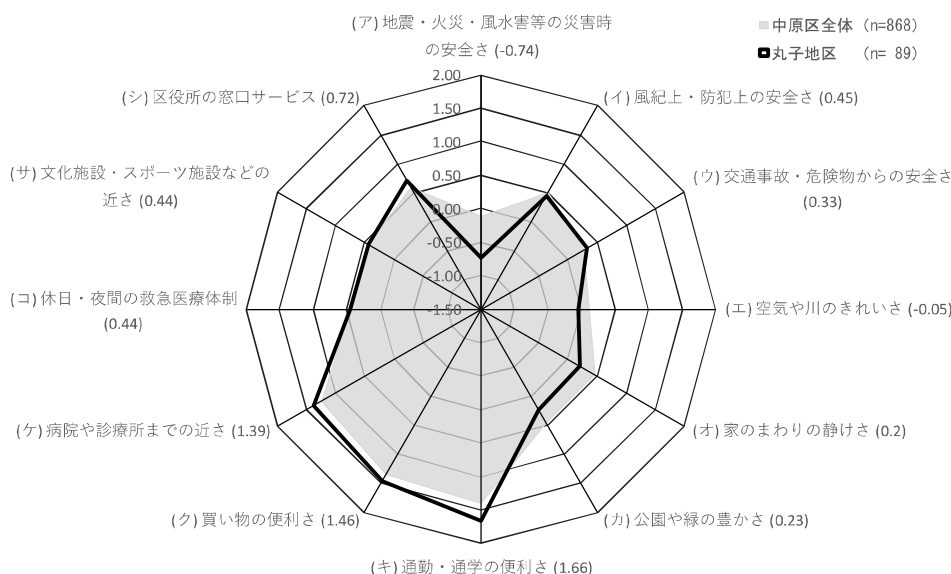
大戸地区で中原区全体と比べて評価が高い項目は、(ア)地震・火災・風水害等の災害時の安全さ(+0.22)、(サ)文化施設・スポーツ施設などの近さ(+0.18)、(オ)家のまわりの静けさ(+0.16)など計5項目となっている。一方、中原区全体と比べて評価が低い項目は、(キ)通勤・通学の便利さ(-0.12)、(ケ)病院や診療所までの近さ(-0.10)など計7項目となっている。(図表 2-1-6)

図表 2-1-6 生活環境の満足度の評価点—大戸地区



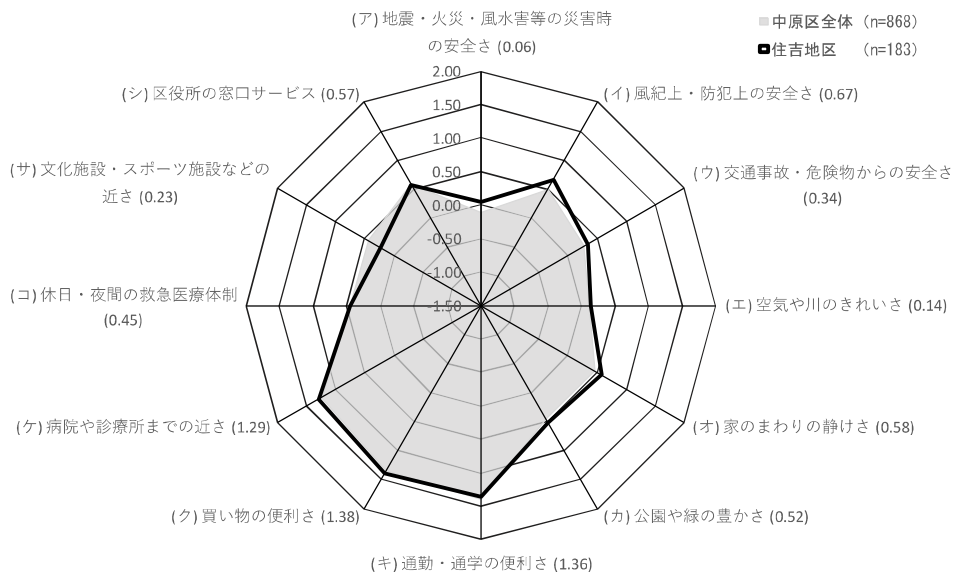
丸子地区で中原区全体と比べて評価が高い項目は、(キ) 通勤・通学の便利さ(+0.26)、(ケ)病院や診療所までの近さ(+0.15)など計6項目となっている。一方、中原区全体と比べて評価が低い項目は、(ア)地震・火災・風水害等の災害時の安全さ(-0.63)、(オ)家のまわりの静けさ(-0.25)など計6項目となっている。(図表 2-1-7)

図表 2-1-7 生活環境の満足度の評価点—丸子地区



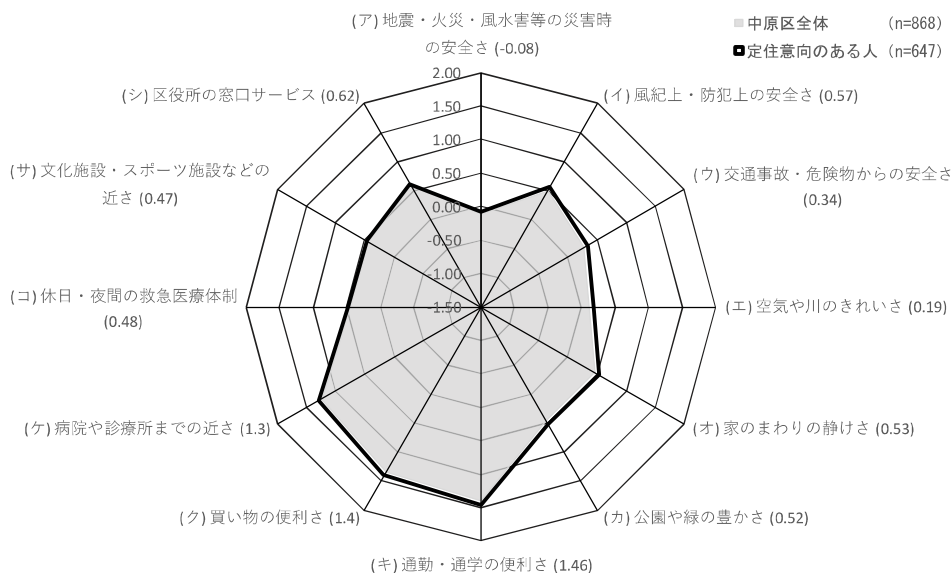
住吉地区で中原区全体と比べて評価が高い項目は、(イ) 風紀上・防犯上の安全さ(+0.18)、(ア)地震・火災・風水害等の災害時の安全さ(+0.17)、(オ)家のまわりの静けさ(+0.13)など計9項目となっている。一方、中原区全体と比べて評価が低い項目は、(サ)文化施設・スポーツ施設などの近さ(-0.20)など計3項目となっている。
(図表 2-1-8)

図表 2-1-8 生活環境の満足度の評価点—住吉地区



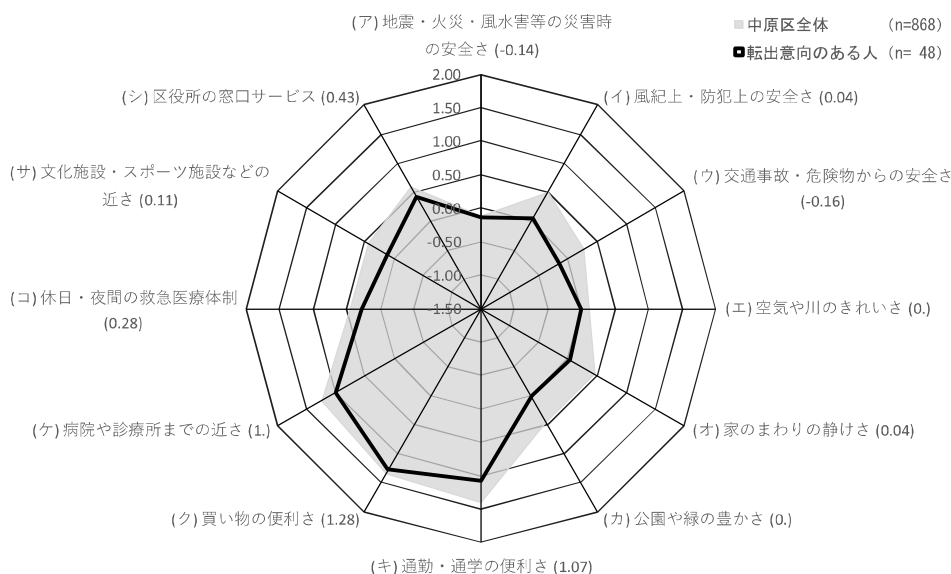
問2で、今のところに「これからも住んでいたい」と答えた、定住意向のある人(647人)でみると、すべての項目で中原区全体と比べて評価が高くなっており、特に(イ) 風紀上・防犯上の安全性、(オ) 家のまわりの静けさ(いずれも+0.08)、(ウ) 交通事故・危険物からの安全性、(エ) 空気や川のきれいさ、(カ) 公園や緑の豊かさ(いずれも+0.07)の評価が高くなっている。(図表 2-1-9)

図表 2-1-9 生活環境の満足度の評価点—定住意向のある人



問2で、今のところから「できれば市内の他の区へ移りたい」または「できれば市外へ移りたい」と答えた、転出意向のある人(48人)でみると、すべての項目で中原区全体と比べて評価が低くなっており、特に(イ) 風紀上・防犯上の安全性、(カ) 公園や緑の豊かさ(いずれも-0.45)、(ウ) 交通事故・危険物からの安全性(-0.43)、(オ) 家のまわりの静けさ(-0.41)の評価が低くなっている。(図表 2-1-10)

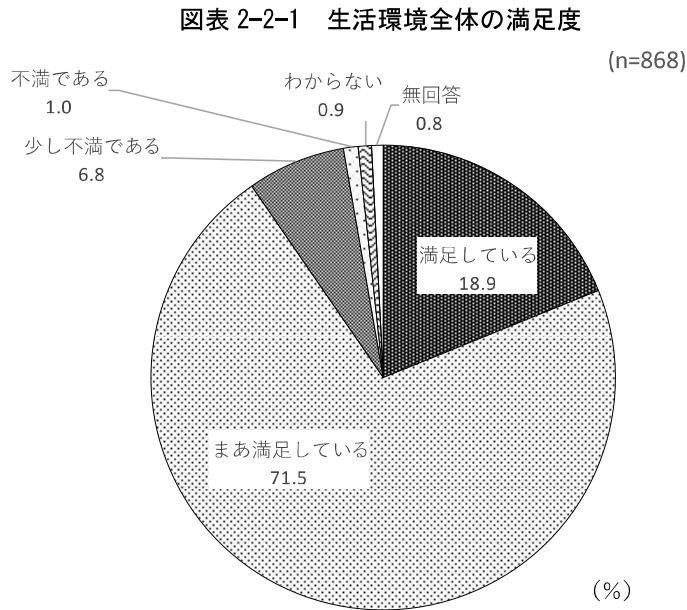
図表 2-1-10 生活環境の満足度の評価点—転出意向のある人



(2) 生活環境全体の満足度

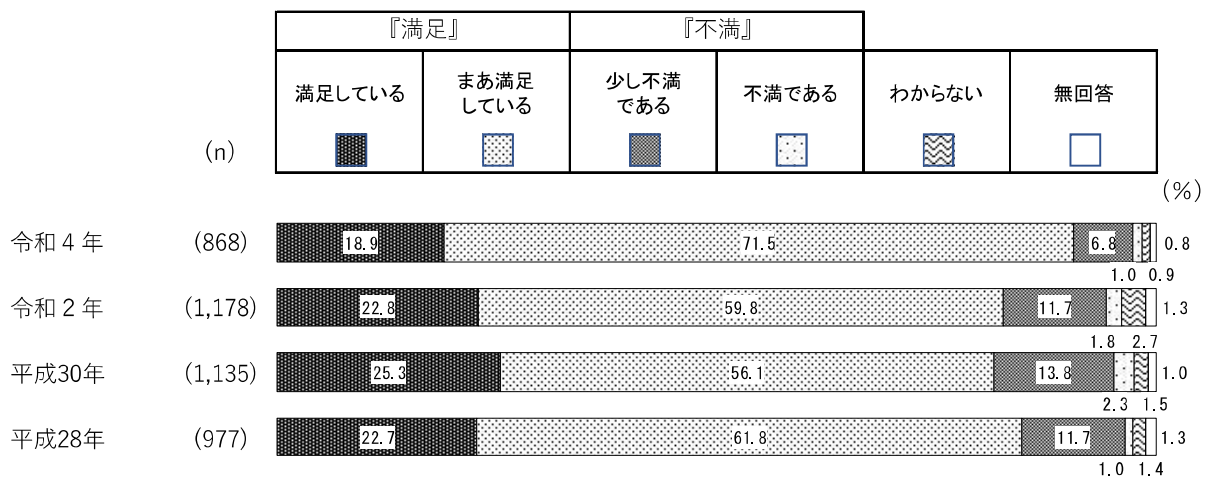
問4 地域の生活環境を総合的にみた場合、中原区にどの程度満足していますか。(○は1つだけ)

地域の生活環境を総合的にみた場合、中原区にどの程度満足しているか聞いたところ、「満足している」(18.9%)と「まあ満足している」(71.5%)の2つを合わせた『満足』(90.4%)が9割を超えている。一方、「少し不満である」(6.8%)と「不満である」(1.0%)の2つを合わせた『不満』(7.8%)は1割に満たない。(図表 2-2-1)



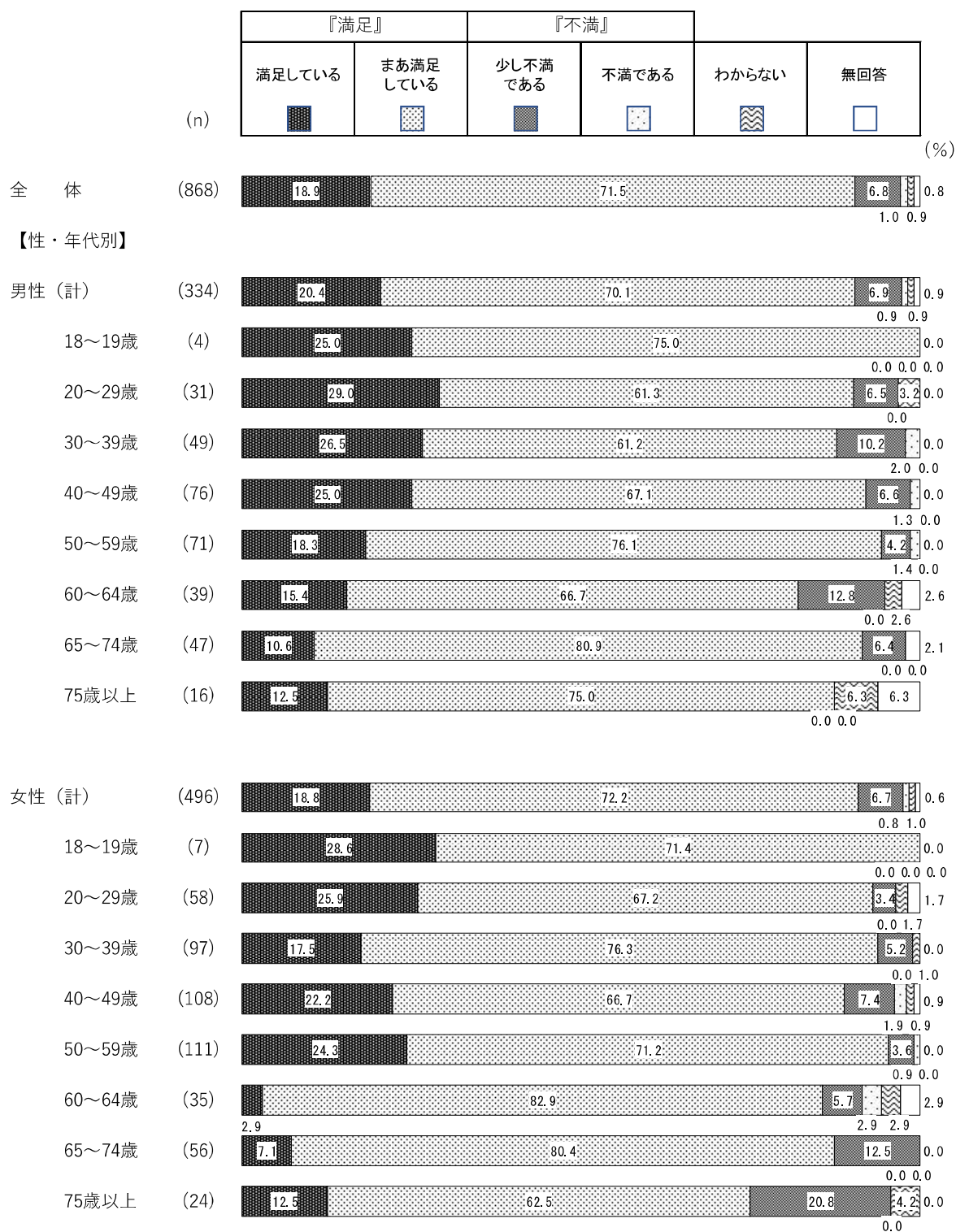
過去の調査と比較すると、前回調査より『満足』は 7.8 ポイント増加し、『不満』は 5.7 ポイント減少している。(図表 2-2-2)

図表 2-2-2 生活環境全体の満足度—過去の調査との比較



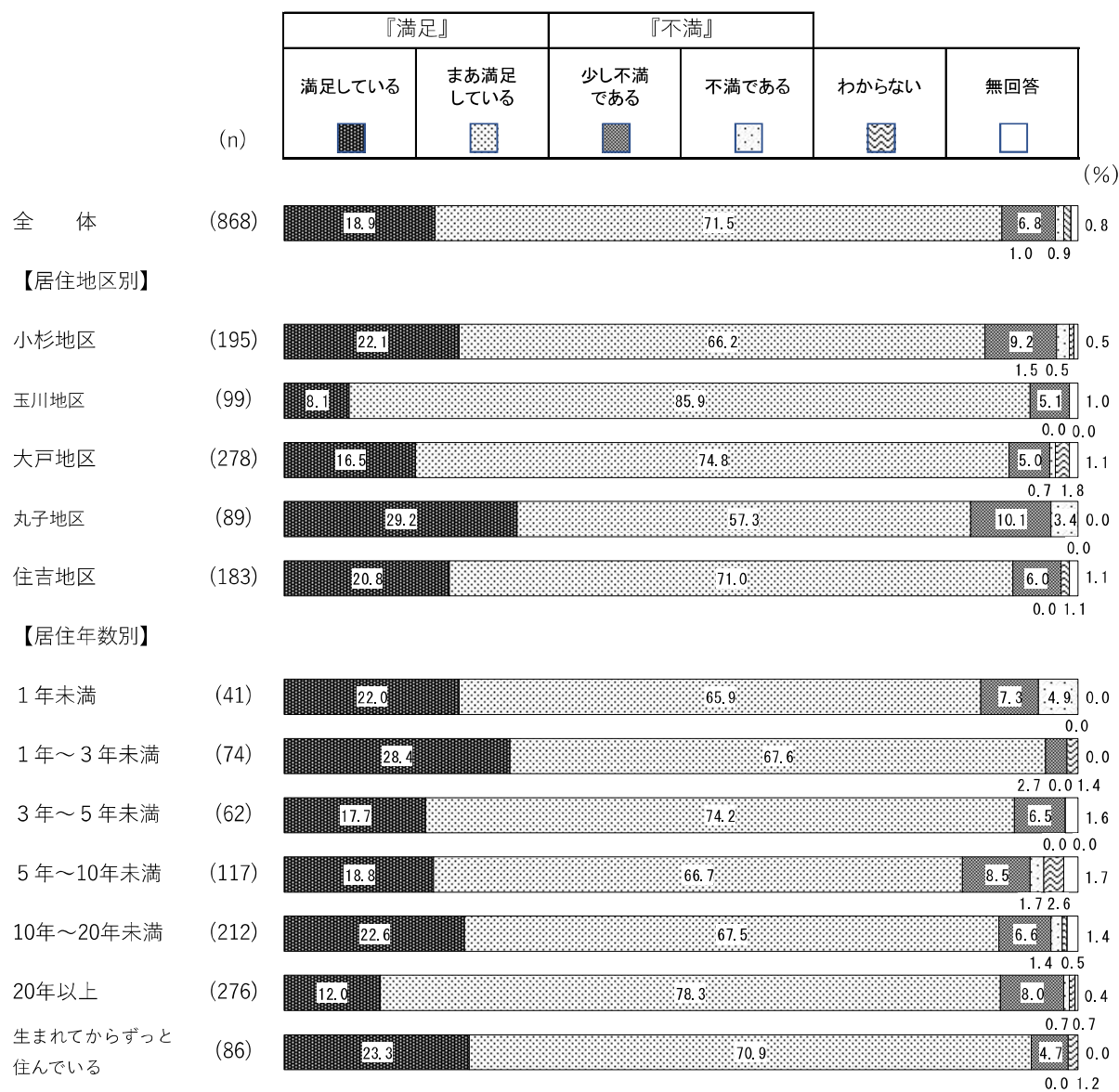
性・年代別にみると、『満足』は女性 75 歳以上(75.0%)以外で8割半ば以上を占めている。一方、『不満』は女性 75 歳以上(20.8%)が2割強で多かった。(図表 2-2-3)

図表 2-2-3 生活環境全体の満足度一性・年代別



居住地区別にみると、『満足』は玉川地区(93.9%)が9割半ばで最も多かった。居住年数別にみると、『満足』は1年～3年未満(65.9%)が9割半ばで最も多く、『不満』は1年未満(12.2%)が1割超で最も多かった。(図表 2-2-4)

図表 2-2-4 生活環境全体の満足度—居住地区別・居住年数別

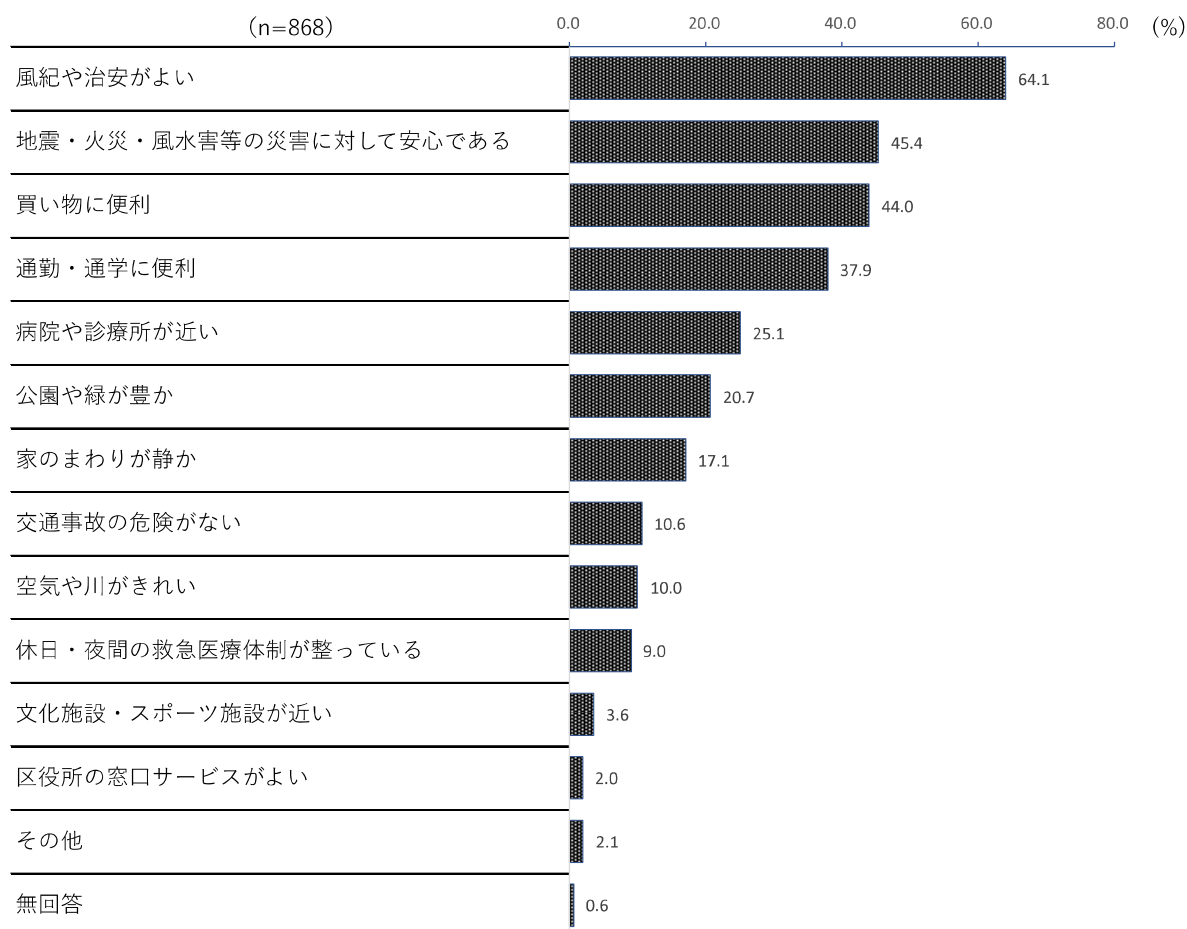


(3) 住みよい環境についての意識

問5 住みよい環境とは、どのようなものだと思いますか。(〇は3つまで)

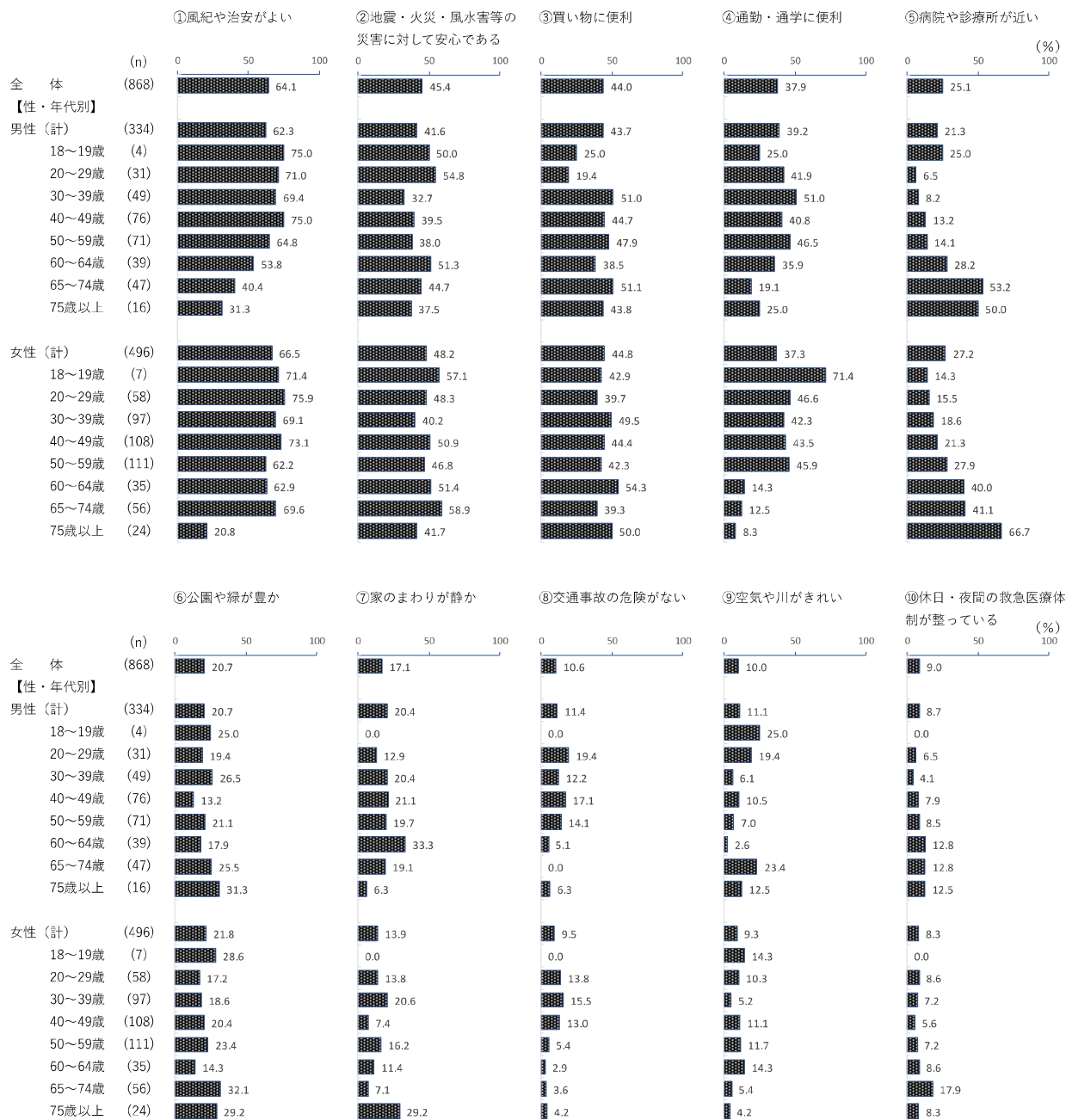
住みよい環境とは、どのようなものだと思うか聞いたところ、「風紀や治安がよい」(64.1%)が6割超で最も多く、次いで「地震・火災・風水害等の災害に対して安心である」(45.4%)、「買い物に便利」(44.0%)、「通勤・通学に便利」(37.9%)となっている。(図表 2-3-1)

図表 2-3-1 住みよい環境についての意識



性・年代別にみると、「風紀や治安がよい」は男性 20～29 歳(71.0%)・40～49 歳(75.0%)、女性 18～19 歳(71.4%)・20～29 歳(75.9%)・40～49 歳(73.1%)が7割超で多かった。「地震・火災・風水害等の災害に対して安心である」は男性 20～29 歳(54.8%)・女性 18～19 歳(57.1%)・女性 65～74 歳(58.9%)が5割半ば前後で多かった。「買い物に便利」は男性 30～39 歳(51.0%)・65～74 歳(51.1%)、女性 60～64 歳(54.3%)・女性 75 歳以上(50.0%)が5割以上で多かった。「病院や診療所が近い」は男性 65～74 歳(53.2%)・男性 75 歳以上(50.0%)・女性 75 歳以上(66.7%)が5割以上で多かった。(図表 2-3-2)

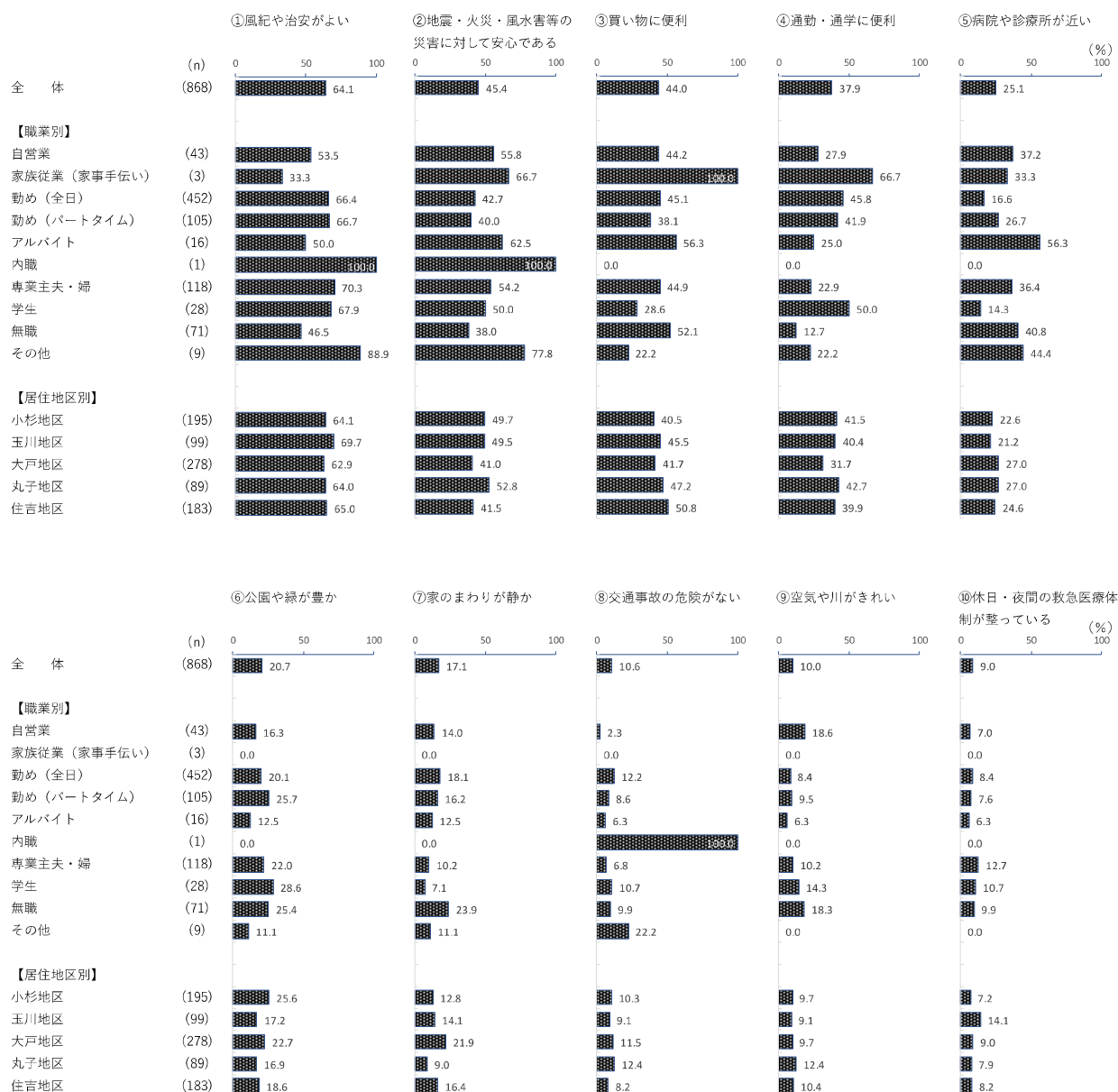
図表 2-3-2 住みよい環境についての意識—性・年代別（上位 10 項目）



職業別にみると、「風紀や治安がよい」について、その他(88.9%)が9割弱で多く、次いで専業主夫・婦(70.3%)となっている。「地震・火災・風水害等の災害に対して安心である」も、その他(77.8%)が7割半ばで多く、次いでアルバイト(62.5%)となっている。

居住地区別にみると、「風紀や治安がよい」は玉川地区(69.7%)が7割弱で多かった。「地震・火災・風水害等の災害に対して安心である」は丸子地区(52.8%)が過半数を占めている。(図表 2-3-3)

図表 2-3-3 住みよい環境についての意識—職業別・居住地区別(上位10項目)



3 区役所業務の評価・区のイメージ

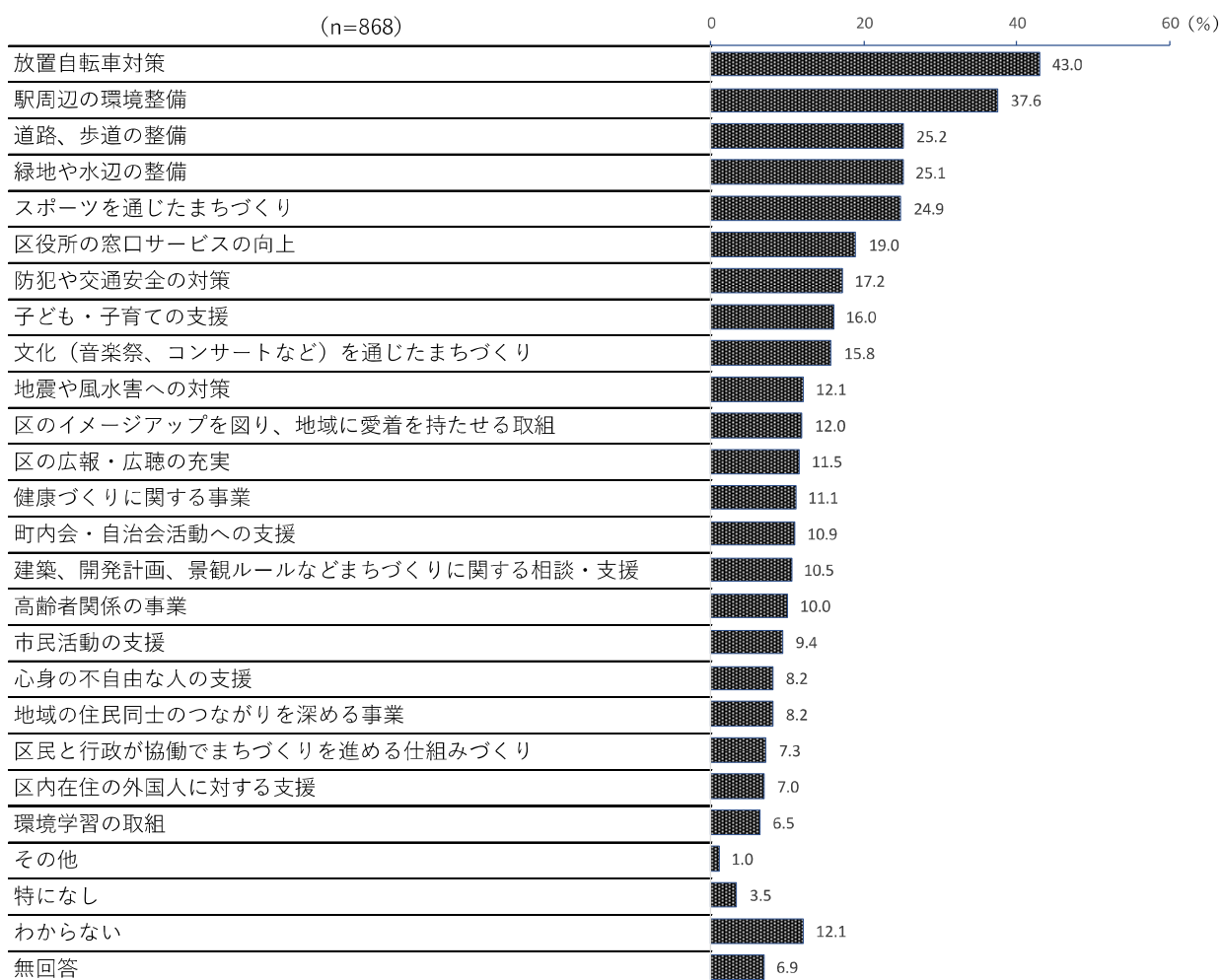
(1) 満足している区役所の業務

問6 次にあげる区役所の業務で、よくやっていると思うものは、どれですか。(〇はいくつでも)

区役所の業務で、よくやっていると思うものを聞いたところ、「放置自転車対策」(43.0%)が4割強で最も多く、次いで「駅周辺の環境整備」(37.6%)、「道路、歩道の整備」(25.2%)、「緑地や水辺の整備」(25.1%)となっている。

(図表 3-1-1)

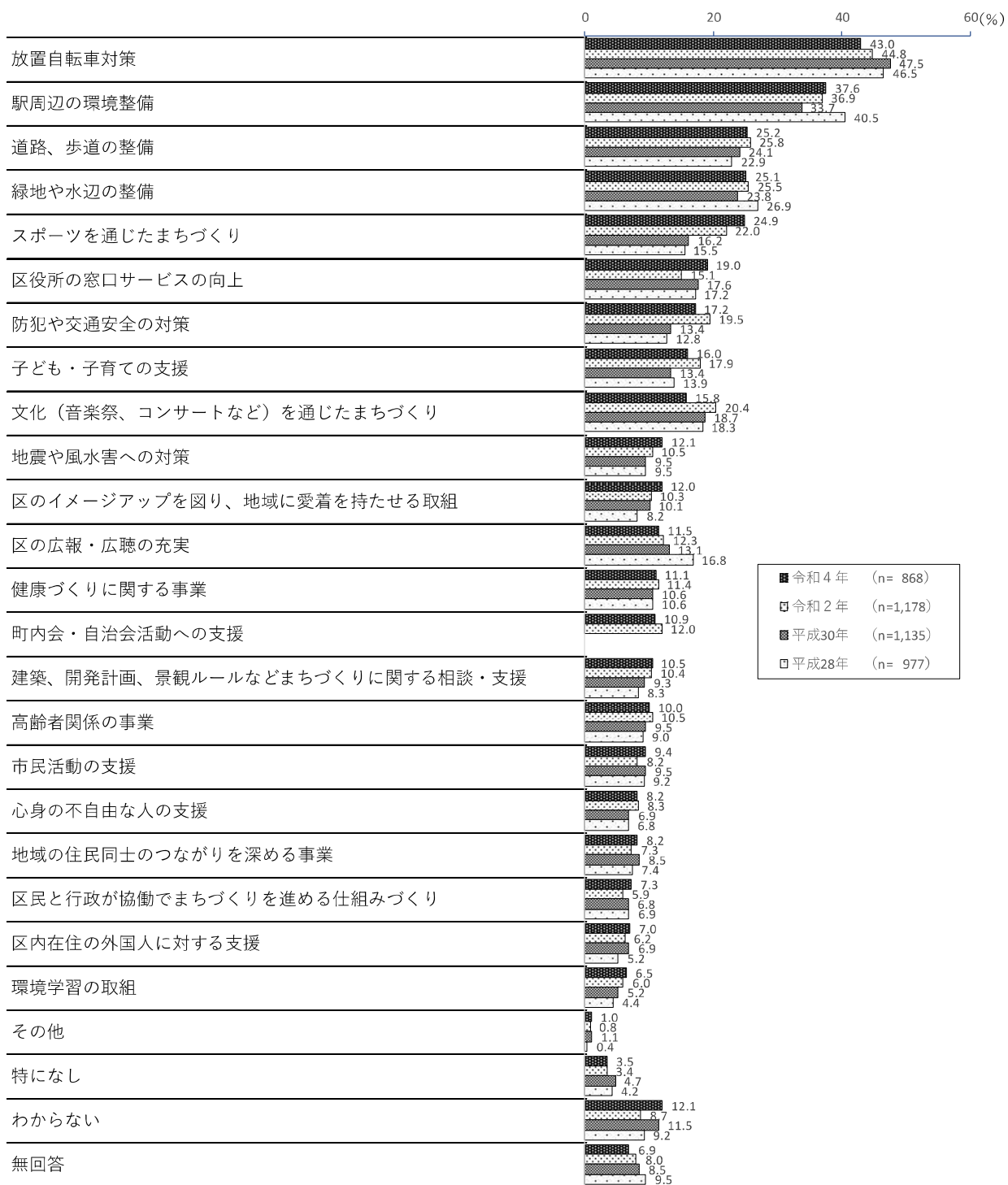
図表 3-1-1 満足している区役所の業務



過去の調査と比較すると、前回調査より「区役所の窓口サービスの向上」(19.0%)は3.9ポイント・「スポーツを通じたまちづくり」(24.9%)は2.9ポイント増加している。一方、「文化(音楽祭、コンサートなど)を通じたまちづくり」は前回調査より4.6ポイント減少している。

(図表 3-1-2)

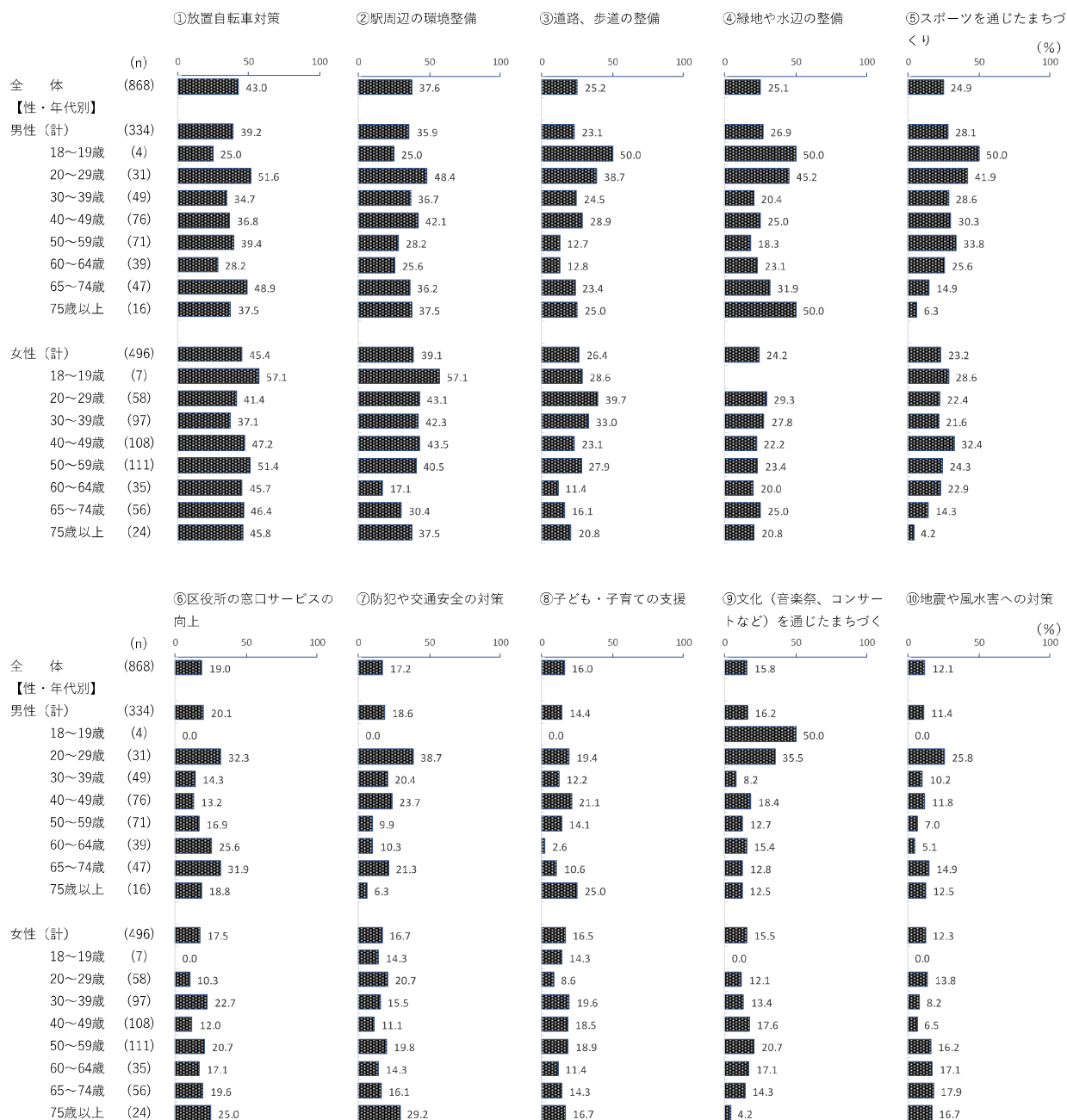
図表 3-1-2 満足している区役所の業務—過去の調査との比較



※「町内会・自治会活動への支援」は令和2年からの新規選択肢

性・年代別にみると、「放置自転車対策」は男性 20～29 歳(51.6%)・女性 18～19 歳(57.1%)・女性 50～59 歳(51.4%)が5割以上で多かった。また、「駅周辺の環境整備」は男性 20～29 歳(43.4%)・女性 18～19 歳(57.1%)で4割半ば以上、「道路、歩道の整備」は男性 20～29 歳(38.7%)・女性 20～29 歳(39.7%)が4割近くで多かった。「防犯や交通安全の対策」は男性 20～29 歳(38.7%)が4割弱で多かった。「文化(音楽祭、コンサートなど)を通じたまちづくり」は男性 20～29 歳(35.5%)が3割半ばで多かった。(図表 3-1-3)

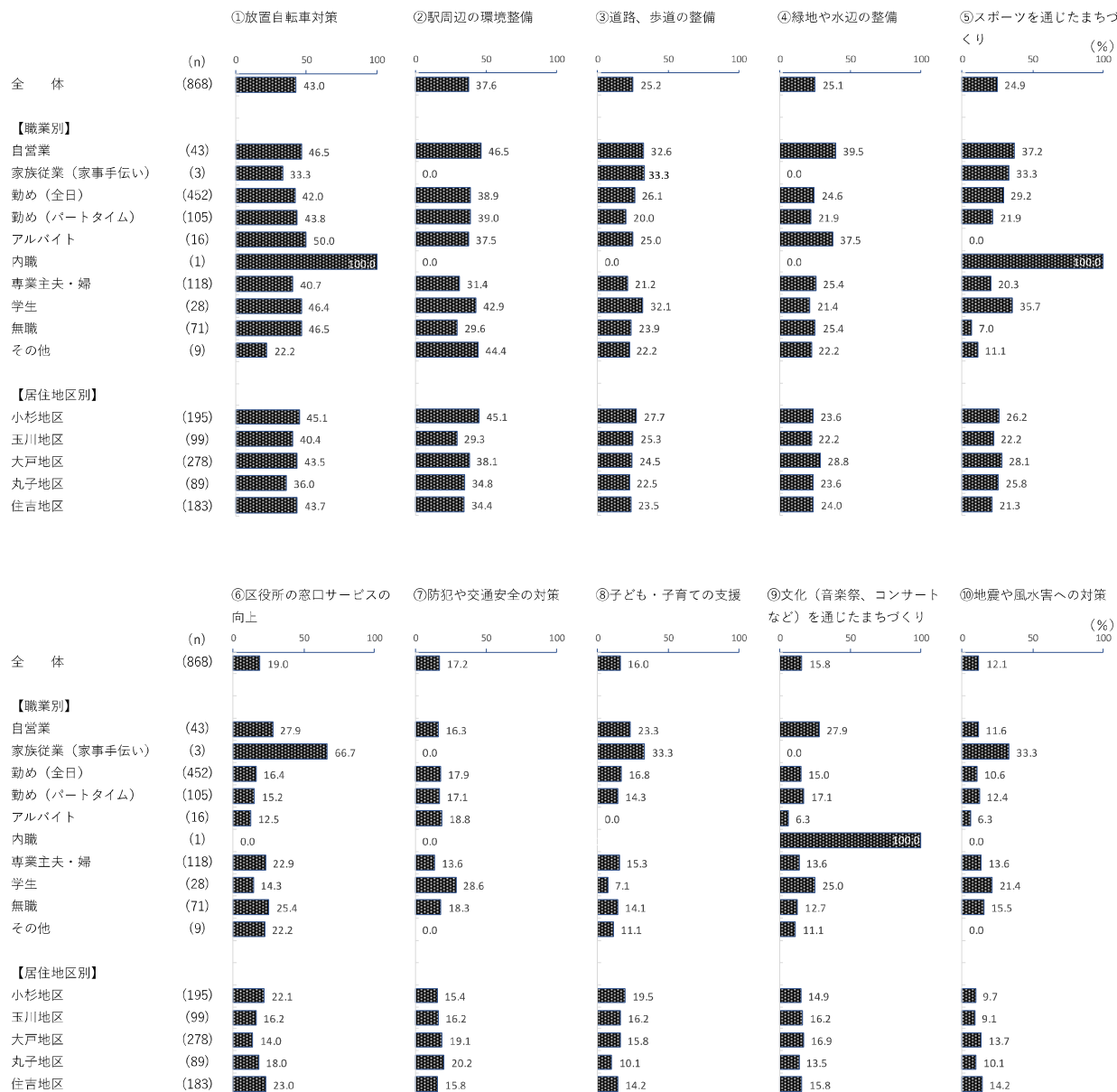
図表 3-1-3 満足している区役所の業務一性・年代別 (上位 10 項目)



職業別にみると、「放置自転車対策」はアルバイト(50.0%)が5割で多かった。また、「駅周辺の環境整備」は自営業(46.5%)が4割半ば強、「道路、歩道の整備」は自営業(32.6%)・学生(32.1%)が3割強で多かった。

居住地区別にみると、「放置自転車対策」は小杉地区(45.1%)が、「駅周辺の環境整備」も小杉地区(45.1%)が多かった。(図表 3-1-4)

図表 3-1-4 満足している区役所の業務－職業別・居住地区別（上位 10 項目）

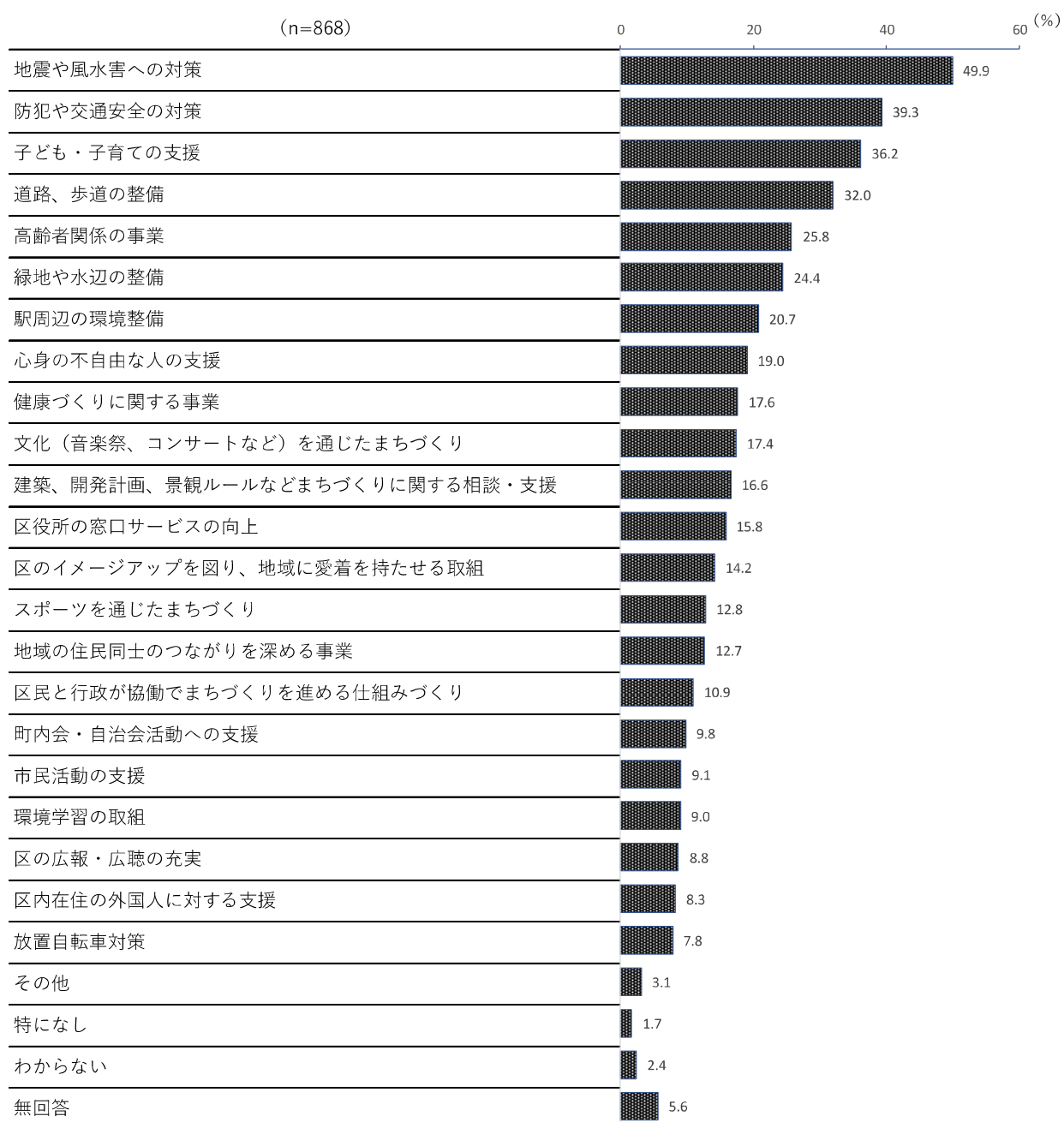


(2) 力を入れてほしい区役所の業務

問7 今後、特に力を入れてほしいと思うものは、どれですか。(〇はいくつでも)

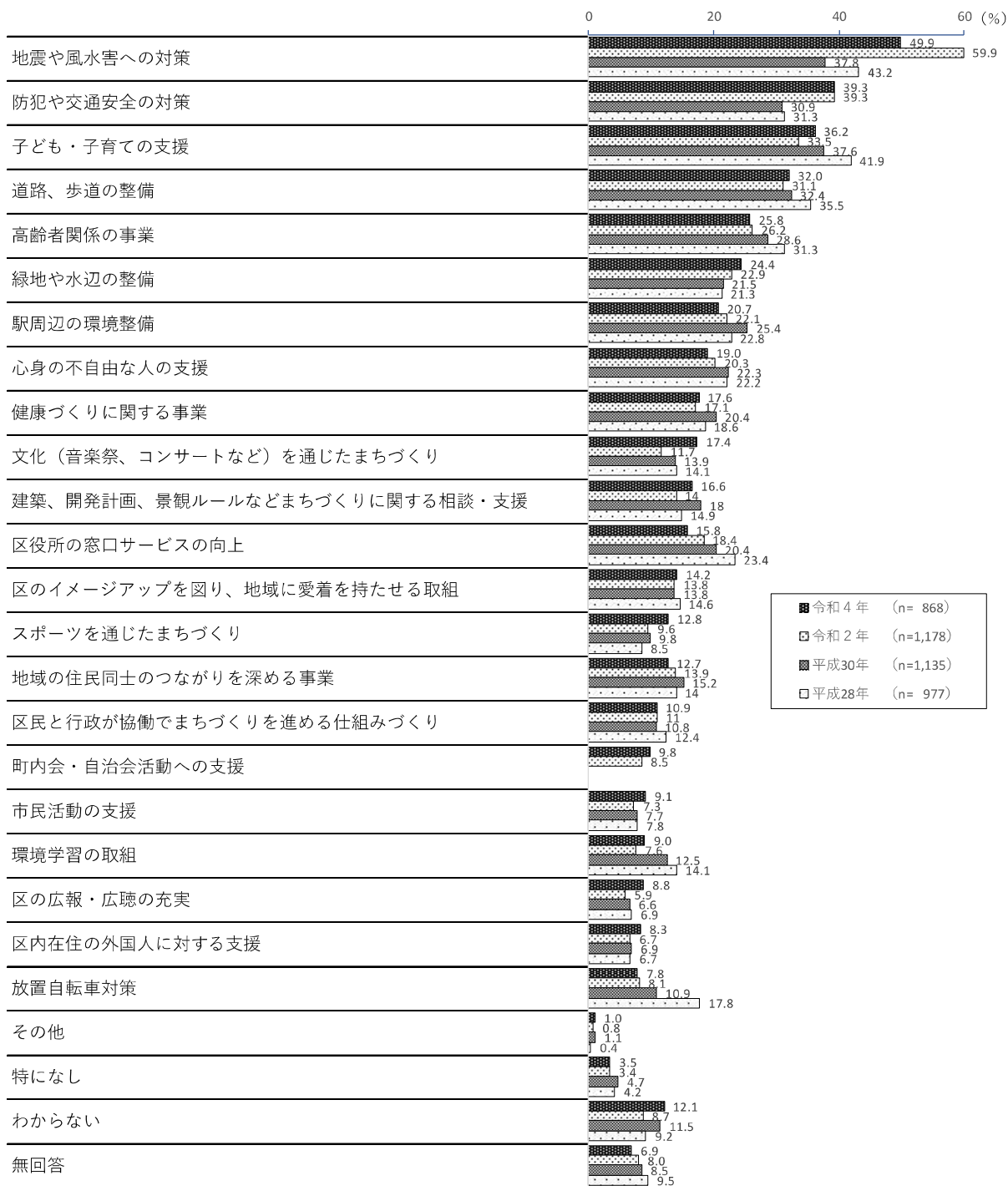
区役所の業務で、今後、特に力を入れてほしいと思うものを聞いたところ、「地震や風水害への対策」(49.9%)が約5割で最も多く、次いで「防犯や交通安全の対策」(39.3%)、「子ども・子育ての支援」(36.2%)、「道路、歩道の整備」(32.0%)となっている。(図表 3-2-1)

図表 3-2-1 力を入れてほしい区役所の業務



過去の調査と比較すると、前回調査より「地震や風水害への対策」は10.0ポイント減少している。「防犯や交通安全の対策」は前回調査から横ばいである。また、「文化(音楽祭、コンサートなど)を通じたまちづくり」・「建築、開発計画、景観ルールなどまちづくりに関する相談・支援」・「スポーツを通じたまちづくり」・「区の広報・広聴の充実」は増加傾向にある。(図表 3-2-2)

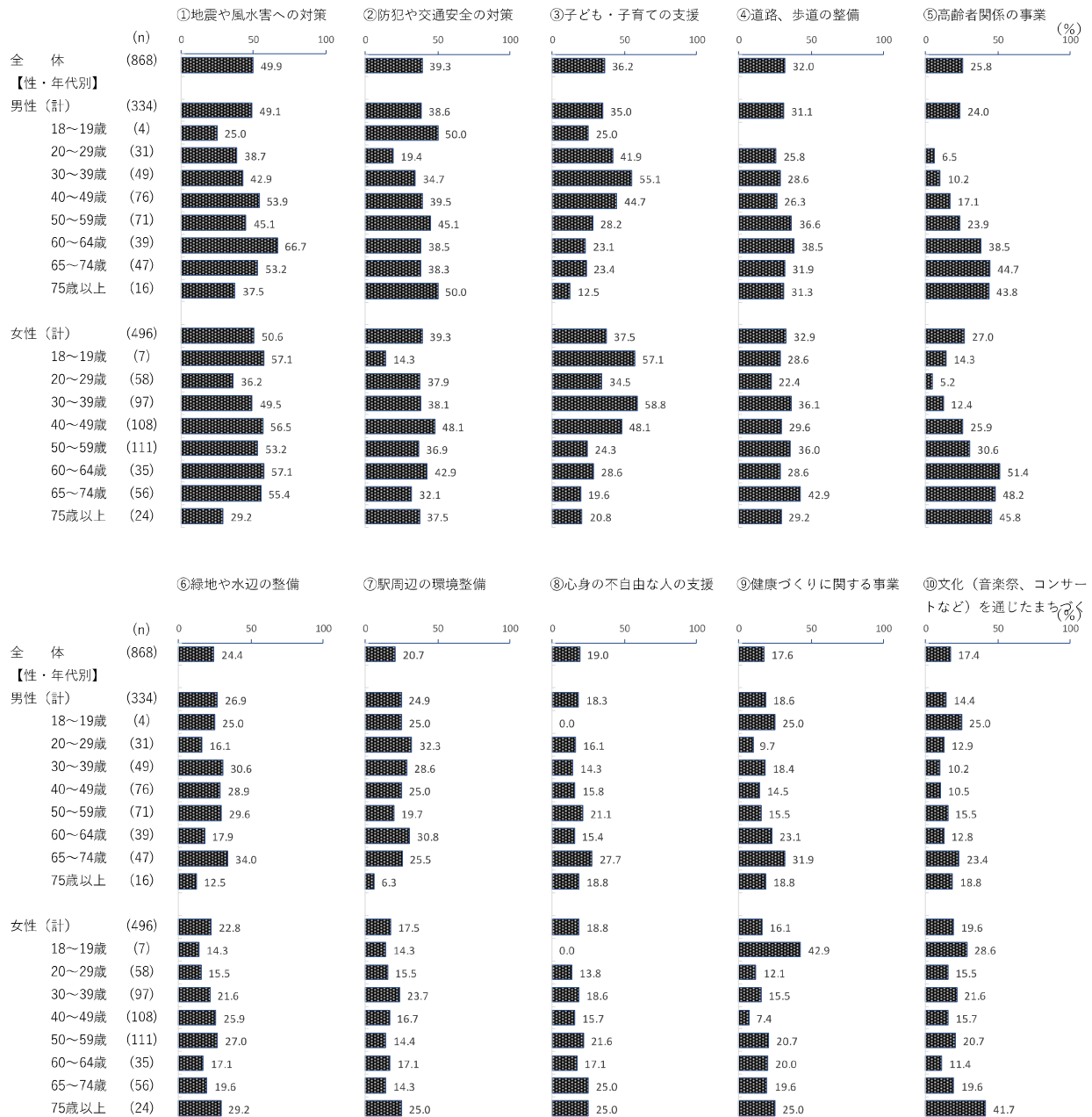
図表 3-2-2 力を入れてほしい区役所の業務—過去の調査との比較



※「町内会・自治会活動への支援」は令和2年からの新規選択肢

性・年代別にみると、「地震や風水害への対策」は男性 60～64 歳(66.7%)が6割半ば超で多かった。また、「防犯や交通安全の対策」は男性 75 歳以上(50.0%)が5割と多く、「子ども・子育ての支援」は女性 30～39 歳(58.8%)が6割弱で多かった。(図表 3-2-3)

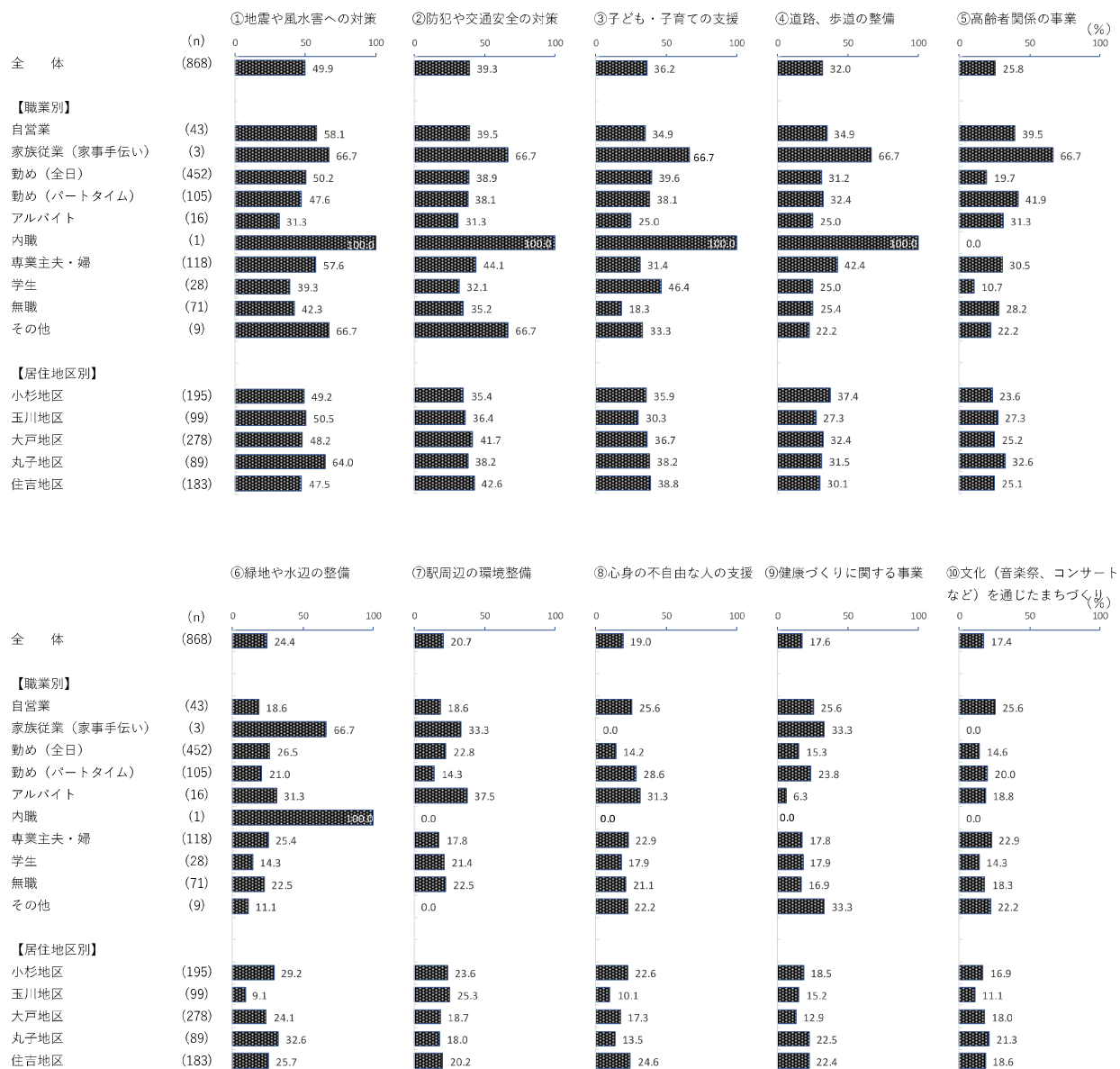
図表 3-2-3 力を入れてほしい区役所の業務－性・年代別（上位 10 項目）



職業別にみると、「地震や風水害への対策」はその他(66.7%)が6割超、「防犯や交通安全の対策」もその他(66.7%)が6割超で多かった。「道路、歩道の整備」は専業主夫・婦(42.4%)が4割強で多かった。

居住地区別にみると、「地震や風水害への対策」は丸子地区(64.0%)が、「道路、歩道の整備」は小杉地区(37.4%)が、「高齢者関係の事業」は丸子地区(32.6%)が多かった。(図表 3-2-4)

図表 3-2-4 力を入れてほしい区役所の業務－職業別・居住地区別（上位 10 項目）

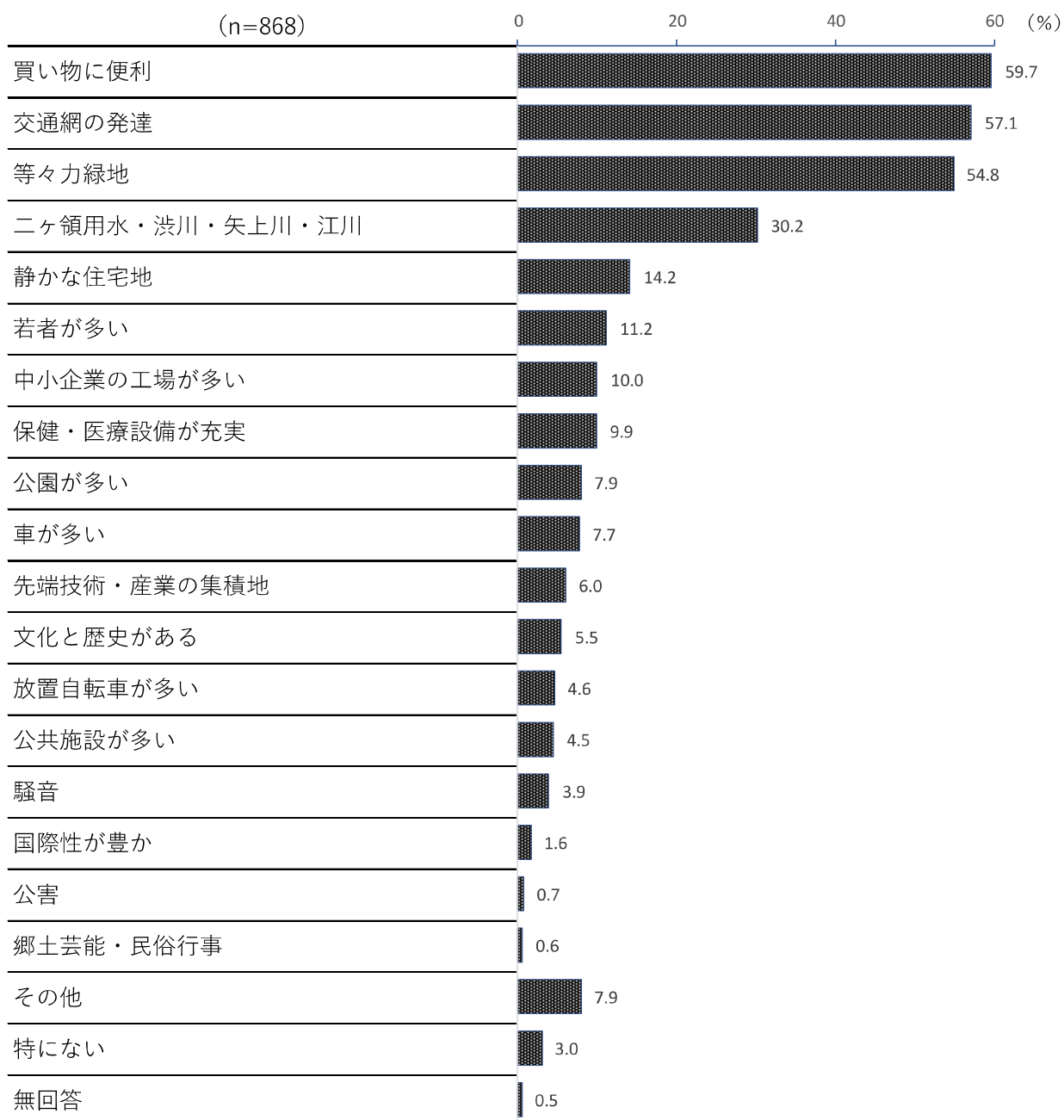


(3) 中原区のイメージ

問8 中原区の「イメージ」として何を思い浮かべますか。(〇はいくつでも)

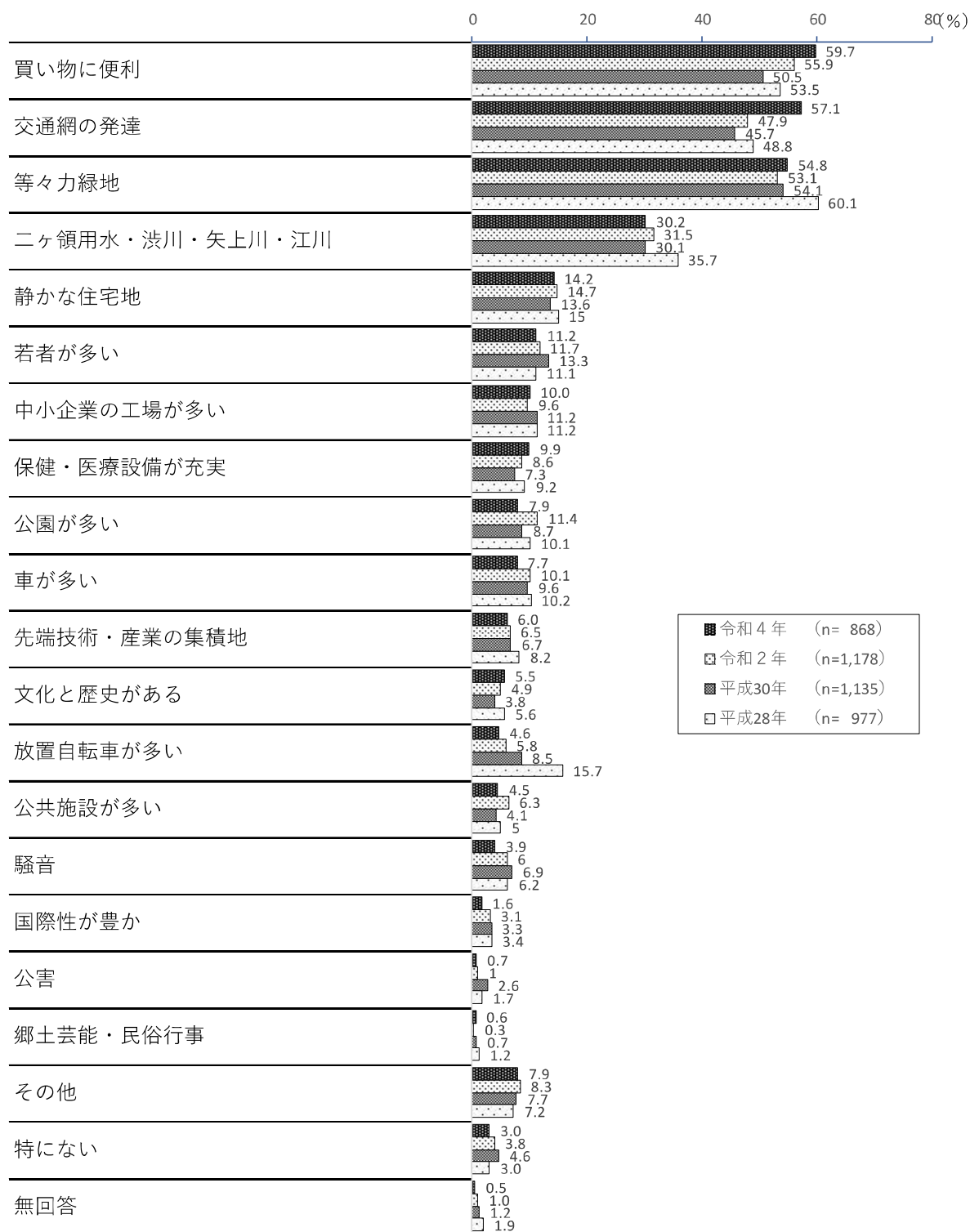
中原区の「イメージ」として何を思い浮かべるか聞いたところ、「買い物に便利」(59.7%)が6割弱で最も多く、次いで「交通網の発達」(57.1%)、「等々力緑地」(54.8%)となっている。(図表 3-3-1)

図表 3-3-1 中原区のイメージ



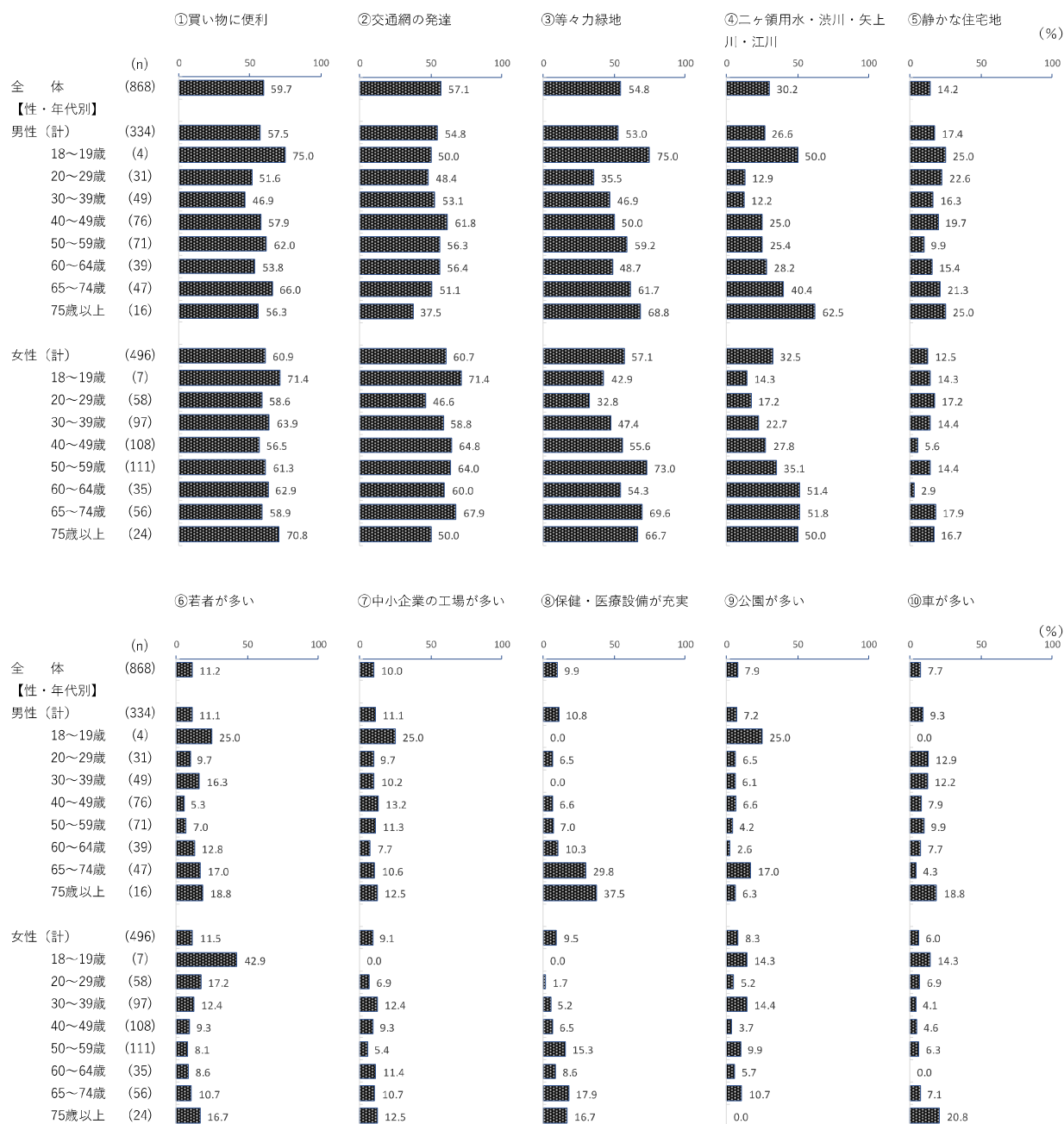
過去の調査と比較すると、前回調査より「交通網の発達」は 9.2 ポイント、「買い物に便利」は 3.8 ポイント、「等々力緑地」は 1.7 ポイント増加している。「公園が多い」は 3.5 ポイント、「車が多い」は 2.4 ポイント、「騒音」は 2.1 ポイント減少している。(図表 3-3-2)

図表 3-3-2 中原区のイメージ過去の調査との比較



性・年代別にみると、「買い物に便利」は女性 18～19 歳 (71.4%)・女性 75 歳以上 (70.5%) が 7 割超で多かった。「二ヶ領用水・渋川・矢上川・江川」が男性 75 歳以上 (62.5%)・女性 60～64 歳 (51.4%)・女性 65～74 歳 (51.8%) で過半数となっている。(図表 3-3-3)

図表 3-3-3 中原区のイメージ性・年代別 (上位 10 項目)



職業別にみると、「買い物に便利」はアルバイト(81.3%)が8割超で多かった。「二ヶ領用水・渋川・矢上川・江川」はその他(44.4%)・自営業(41.9%)・無職(40.8%)が4割超で多かった。

居住地区別にみると、「買い物に便利」は住吉地区(69.9%)が7割弱、「等々力緑地」は大戸地区(68.3%)が7割弱で多かった。(図表 3-3-4)

図表 3-3-4 中原区のイメージ・職業別・居住地区別 (上位 10 項目)

